

TAD

TOHOKU AKINDO DESIGN
2018 AUTUMN & WINTER
とうほく あきんど でざいん 2018秋冬

Vol.
5



TAKE FREE
¥0

TAD vol.5

とうほく あきんど でざいん 2018秋冬 TOHOKU AKINDO DESIGN 2018 AUTUMN & WINTER

とうほく あきんど でざいん 塾

生きるための
知恵とセンス



TAD Vol.5

資源 生きるための知恵とセンス

02 都市のキワ(edge)を探す

06 仙台市民×座談会×考える私
みんなの消費と私の感覚10 地元愛は知に宿る!?
超難解「宮城マスター検定」の謎
郷愁刑事イタリーさとうの捜査記録

16 まちとわたしとかわ

24 東北を活かす
資源としての伝統

33 潜考アジテーション

34 =アンケート=
あなたの〈資源〉を
教えてください。54 =協働クリエイターによる往復メール=
〈資源〉をめぐる言葉

連載

36 ききみみずきん スイス編
その二、カン・ミアの生活40 純愛アタック!!
第2回 長井勝一漫画美術館編44 雑草からパクチー¹
第五回 民の芸、僕の芸48 コンノケンジのお買い物
第5回 ゴミ箱49 DIY PROJECT
プロジェクト完了記念 施設お披露目会開催!50 ROSEBUD TAROT READING
秋冬の運勢

52 協働クリエイター略歴



目の前のものごとが
自己自身の出来事に

ならない を
乗り越えるために。

とうほく あきんど でざいん 2018 秋冬
編集長 鈴木 瑞理子

誰から魅力を聞かれると、人口とまちの規模のバランスがよくて
『つまらない』とか『何もない』って言うよね」と、
生まれ育ちが仙台の友人と話したことがある。
もちろん地元にも好きなものや場所はあるし、好きな人たちもいる。
惰性的に暮らしているつもりもない。
けれども同時に大きな期待を持つわけでもなく、
流れしていく時間とその中で起る変化を、
他人の出来事であるかのように見ている。
こういう感覚に、思い当たる人もいるのではないだろうか。

たとえば「つまらない」に対し、なにかを「おもしろい」と感じるとき、
それは対象となるものごとがすとんと腑に落ち、
自己自身の出来事の一端になりえたときだと
言うことができるかもしれない。

それは今、あなたやわたしが生きているということを一瞬間にひらめかせ、
生きることに根深く結びつく渴望の表れであるようにも思う。
そして、その渴望に向き合おうとするのが億劫で、
どうにかなっていくだろうとまちへの関心がしぶんでもいくような状況が
もし仙台の暮らしのなかにあるのだとしたら、
人々の意思やありようによつてつぶられていくはずの地域は、
この後どうなっていくのか。

だとしたら、「つまらない」と言えてしまうのは、
生きることに根深く結びつく渴望の表れであるようにも思う。
自己自身の出来事の一端になりえたときだと
言うことができるかもしれない。

主題として挙がったのは〈資源〉である。ここでいう〈資源〉は、
「『目の前のものごとが自己自身の出来事となる』ためのきっかけ」と
独自に捉えたい。

そして今号では、それらをわたしたちの暮らしのなかに探った。
〈資源〉は生きるうえで欠かせない知恵やセンスとして、
人々が持つ違和感や日々生まれる思いの根に現れる。

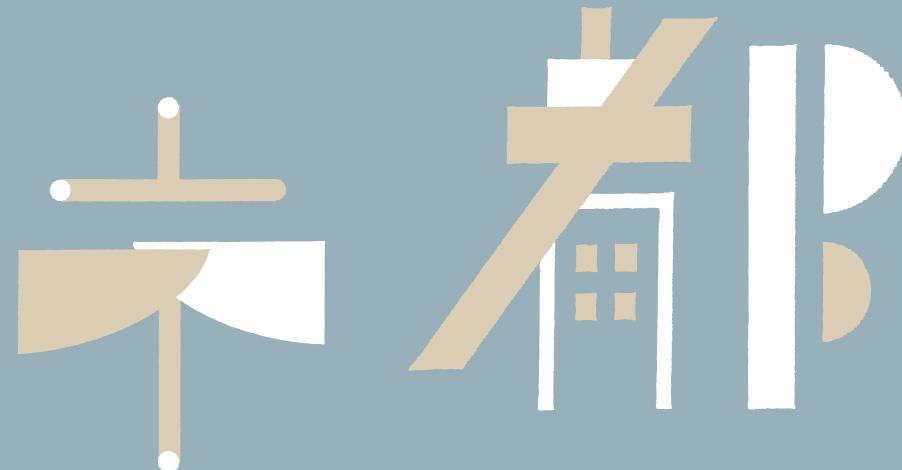
そう信じ、協働クリエイターの面々や協力いただいた方々のまなざしを、
記事を通して提示してもらおうことで一冊をかたちづくった。

これからお読みいただく皆さまの暮らしのなかにも、
ふとしたときに〈資源〉が立ち現れることを願つて。

「仙台の人って、自分たちの地元のことを蔑むっていうか、
『つまらない』とか『何もない』って言うよね」と、

「都市のキワ (edge) を探す」

貞包英之



山形などの小規模な都市、または東京という大都市にしか住んだことのない私からすると、仙台のような「中都市」は、住みやすい、夢の場所のように映る。大抵のモノは街から出ずに揃い、また会いたい人や情報はやってきてくれる場所。にもかかわらず空間に余裕があり、ラッシュは殺人的ではなく、近隣に自然も豊かな場所。

そのためか、私がおこなった調査でも、仙台都市圏に住む者の満足度は高かった。仙台都市圏と宮城県の他の市部、郡部を分け、生活に対する評価を聞いたところ、仙台都市圏在住者では「総合的に見て、今の生活に満足している」「政治や社会に満足している」「転職したくない」「総合的に見て、現在住んでいる地域の現状に満足している」などの項目で肯定的な回答が統計的に有意にみられたのである（科研費研究『地方都市のモビリティ』）。

この満足度の高さを土台としてか、人口の増減でみても、仙台はかなり恵まれている。日本全体では人口減少が危惧されている。それは他人事ではないにしろ、2010年から2015年にかけて（震災の影響はあるとはい）仙台市は、3・5%、全国505市中9位という人口増加を記録している（国勢調査）。

仙台だけではない。「札仙広福」とまとめられる札幌、福岡、広島を含む他の中都市も同じく恵まれたポジションにおり、そのためか、近年、中都市に注目が集まっている。

たとえば増田寛也らは『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』（中公新書、2014年）で少子高齢化に警鐘を鳴らしたが、その対策として、中都市の「ダム」の機能に期待を寄せている。すべての地域は救えない。だからこそ、地方の中核都市に人口を集め、人口減少を食い止めようというのである。

こうした方策に、筆者は少なくとも一理あると考える。過疎的な地域を見捨てろというのではない。むしろ逆に、人口の減った地方では、生活を豊かにするために、中核都市がより大きな役割をはたすと推測されるためである。

実際、先と同じ私の調査によれば、東北地方に住む人は、仕事や買い物、教育の機会を得るために仙台に頻繁に出かけている。仙台はハブとして、地方の生活に欠かせない場所になっており、この意味では仙台を「豊か」にすることで、他の地域の生活も同時により良くすることができるはずである。

以上のように、仙台はいわば勝ち組として、現在、富や情報、人口が集まる場所になっている。ただし一方では、この「豊かさ」が本当に良いものなのかは、一度は立ち止まつて考える必要もある。

仙台のような中都市は、そもそもこれまで東京や関西の大企業の支店を中心とした「支店経済」によって支えられてきた。だが近年の交通の整備や情報環境の改善によって、「支店経済」の役割は相対的に低くなっている。

それを補っているのが、近年の「消費都市」への変貌である。仙台でも駅前の

* 増田寛也（ますだ・ひろや 1951年～）

東京大学公共政策大学院客員教授。岩手県知事や総務大臣などを歴任。

再開発がさかんだが、それを一例に近年の中都市では、快適で巨大な商業施設を駅前や郊外に配置し、または巨大な劇場やスポーツ施設をつくることがブームになっている。それによって消費を促進し、また雇用を確保することで、地方の中心地としての地位を維持しているのである。

それはもちろん悪いことではない。中都市の商業施設の巨大化が、近隣都市の駅前商店街や百貨店を衰退させていると批判もされる。だがそれはそのまま中都市が地方の衰退を食い止める「ダム」的機能をはたしているという評価にも、裏返すことができる。

とはいっても、それにとどまらない問題も残る。都市の再開発や大規模な施設の建造は、仙台のミニ「東京」化を進めている。高くなつた賃料に耐えられない個人商店が退出し、全国的なチェーンの店舗がその穴を埋める。結果として街は、「東京」を少しだけ後ろから追いかける、どこにでもある場所になりかねない。

それはそれで良いのかもしれない。ミニ「東京」化は、多くの場合、見た目なものでカットし、再編集した「東京」の矮小化にとどまる。しかしだからこそ、それなりに住みやすく、快適な街をつくりだすことで住人に歓迎されもある。

だが長期的にみれば、それがうまい舵取りであるかは疑わしい。ひとつにミニ「東京」化は、グローバルな都市競争のなかで仙台の重要度を低下させてしまうためである。東京にあるものを小さく真似た都市に、わざわざ訪れようとする者はどれほどいるだろうか。

さらに問題となるのが、ドラステイックな変化から仙台を遠ざける危険性である。

小都市を訪れるとき、中心街がしばしば姿を変えていくことに気づく。ネガティブにいえば、中心街はかつての活力を失い、空き店舗や空き家が増え、商業街としての意味を失っている。

しかし悪いことばかりではない。たとえば近隣の山形市などではチェーン店が撤退した代わりに、商店街のはずれやキワ(edge)に、小規模な自営業のショッピングやカフェ・レストランが生まれている。

都市はそうして時代の変化に適合しようとしているのではないか。かつてのように多くの人が訪れる、マスのための商店街に戻ることはおそらくない。だが安くなつた地価に助けられ、大都市や郊外のモールでは生きられない一風変わつた店が、住宅と共に生まれつづある。小規模で気ままに営業されるという意味では不便だが、ポジティブにいえば商売と生活を融合させる実験がおこなわれているのであり、その意味で少子・高齢化と人口減少に適合する暮らしの先端(edge)が、そこにほんやりと姿を現しているともいえる。

逆説的にも恵まれた環境のなかで、中都市が取り残されているのがこうした変化なのではないか。一定の経済的活況に支えられ、マス的消費を前提とした20世紀型の都市に中都市はとどまり続いている。

だがこうした中都市の活況は、長期的にみれば、あらたなものや、そこにしかないものに出会う街の魅力を削り取つていて危険性が強い。結果として、あらたな時代に適合するための変化の可能性も奪われてしまう。

もちろん、悲観する必要はない。あらたな暮らしは、わたしたちの気づかないささやかな隙間でしばしば生まれる。ではこの街仙台に、新しいモノを産みだすキワ(edge)はどうに、そしてどのようなかたちで姿を現しているのだろうか。

貞包 英之 (さだかね・ひでゆき)

1973年生まれ。立教大学社会学部准教授。専攻は社会学・消費社会論・歴史社会学。著書に『地方都市を考える「消費社会」の先端から』(花伝社、2015年)、共著に『自殺の歴史社会学「意志」のゆくえ』(青弓社、2016年)など。

私の感覚　みんなの消費と



Profile

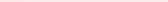
社会人0年生。宮城県出身。ホームページセンターやカフェ、展示会などでアルバイトをする中、いろいろな消費者、消費行動があるなあと感じている。

もう少しで大学を卒業する
社会人0年生・モモです。

成人式の記念撮影で、スタッフから「お母さんからの手紙」を渡された時、頼んでいないサービスに感動を強要されている感覚、記念日をビジネスにしていることへの「違和感」を覚え、世の中の消費やサービスについて疑問を抱いているところです。社会に出る前に、世の中の消費行動について他人の感覚を知りたいと思い、年齢や職業もバラバラの4名に座談会を開いていただきました。

生活していく上で大切にしている感覚、行動のものさしを「資源」と捉え、それが表れるもののひとつ「消費」の面から、「資源」を考えてみたいと思います。ここでは、座談会のお話に私の感覚をコメントにして重ねています。

みなさんも、みなさんの感覚で、座談会の内容を一緒に考えてみてください。

← オ  スタート!!

座談会メンバー



| | |
|----|--------|
| 年齢 | 40代 |
| 性別 | 女性 |
| 職業 | フリーランス |
| 結婚 | 未婚 |

北海道出身。震災を機に東京から仙台へ移住し7年目。戸建賃貸住まい。

| | |
|----|------|
| 年齢 | 30代 |
| 性別 | 男性 |
| 職業 | 団体職員 |
| 結婚 | 既婚 |

宮城県出身。未就学児の子
どもを含む4人家族。持ち
家住まい。妻は専業主婦。

| | |
|----|------|
| 年齢 | 30代 |
| 性別 | 女性 |
| 職業 | 美術作家 |
| 結婚 | 既婚 |

岐阜県出身。子ども2人を育てながら絵描きとしても活躍。夫婦共働き。

| | |
|----|-----|
| 年齢 | 20代 |
| 性別 | 男性 |
| 職業 | 大学生 |
| 結婚 | 未婚 |

宮城県出身。実家から大学に通学。アルバイトは定期的に。法学部在籍。

0

06

体験を買うのか～！
風船も、「すぐ遊ばなくならんだよな～」
ってことも含めた体験料
なのかも！？

なと思うので、私はたまに買いますね。「出店のものは高い、でもここでしか食べられない」ということを勉強してもらいう、その体験料だと思って払っています。

なるほど、体験料。

最近感動したのは、車のメンテナンス。私は車に詳しくないので、ディーラーのメンテナ

ンチパックを契約しているん

です。最近またメンテに出し

た時、コーヒーを飲みながら

ゆったり待つ間、「すごく豊かだな」と思つたんです。多少のお金は払いますが、何

の心配もなく、プロに任せて、自分は落ち着いて待つ

いられることが。

わかります。私は車好き

ですが、仕事もあってなかなか自分でメンテできないの

で、ディーラーのメンテパックに入っています。子どもを遊ばせるキッズコーナーもあるんですね。

いろいろなサービスを見て、私は時給換算しちゃいました。がんばれば自分でできるものでも、労力や技術力を勘案して、「そんなに安くやつてくれるんだ」と思うと、任

う印象です。

仙台での買い物・消費の印象

仙台の絵の売り手からすると、

買い物の反応が都市ごとに異

なることを感じます。仙台の

人は、周りの様子を伺つてい

るというか…保守的なと思

います。私が岐阜出身で、地

元だと消費が派手、オープ

ンでも考えすぎると疲れま

すよね。私も産後すぐは、オ

ガニックとか過敏に考えていま

したけど、子どもの口に入

るのは、次第に制限できな

くなっています。そんなに

厳しく考えなくともいいかな

と今は思います。例えばファ

ストフードも、子どもが食べ

てみて、味とか満足感とか感

じて考えてもらえる機会とし

ては、必要かなと。

今日集まつた私たちは、

比較的、商品の向こう側を考

えやすい立場、環境にいると

思います。でも、そうじゃな

い人もいる。安ければ安いほ

どいい、という考え方の人も。

それぞれの立場、経済状況に

よって変わり続けていくもの

かも知れませんね。

今日はありがとうございます。

仙台は、よく言えば無難

に、穏やかに暮らせる都市で

あります。私は宮城からほぼ出たこ

とがないので、違和感を感じ

たことはないですね。

私は宮城からほぼ出たこ

とがないので、違和感を感じ

たことはないですね。

仙台は、よく言えば無難

に、穏やかに暮らせる都市で

あります。私は宮城からほぼ出たこ

とがないので、違和感を感じ

タレコミをもとに捜査に踏み込むイタリー。
まずは情報収集だ!

合格者の割合でみれば
難関国家試験として
知られる司法書士試験と
同じくらいだ!

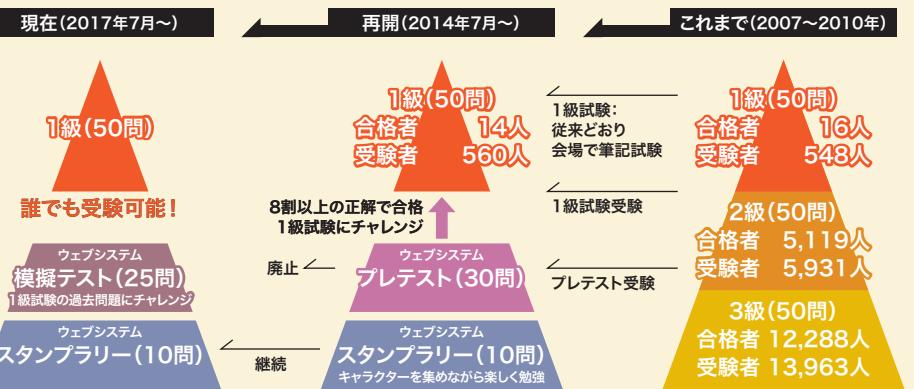


検査1 ＜宮城マスター検定とは？＞

宮城県が開催するご当地検定で、県内外の「宮城のファン拡大」と、復興へ進む「これから宮城」を広く発信していくことを目的におこなっている。県内経済団体及び有識者で構成される宮城マスター検定推進会議が軸となり、各分野からのサポートを受けて運営している。3級は2007年から、2級・1級は、2008年から始まり、2011年の東日本大震災の影響で3年間の休止を挟んだのち、2014年から再開し現在に至る。問題の内容は、宮城県にまつわるあらゆるジャンルから出題される。全50問中40問以上正解すれば合格となるが、問題は極めて難しく、毎年の合格者平均は全体の2%である。2017年はついに合格者0人と、いなかつた。

宮城に生まれ育ったのに、
地元のご当地検定が全然
解けません！
あれはなんなんですか？！

なにい？
地元の人でも解けない
ご当地検定が
あるだと？！



気軽にウェブで
試せて、マスターを
目指すなら筆記試験
というわけか。
よし、関係者へ
の聞き込みに
向かうぞ！

地元愛は知に宿る!? 超難解「宮城マスター検定」の謎

郷愁刑事イタリーさとうの捜査記録（ノスタルジックデカ）

「生まれ故郷である宮城県を愛し、地元のことはなんでも知りたい。そんな熱い思いを抱えながら日々地域の人から寄せられる情報の捜査にあたる郷愁刑事イタリー。

ある日、彼のもとに一件のタレコミが入り……。

ついに1級合格者のもとへ。
威儀ある風格にひるまず、聞け! 聞くんだイタリー!



宮城の知を深め、地域の発展・復興へ貢献！

関係者

1級保持者である
佐藤さんの活動について伺った。

1級マスター検定を

受けた動機を教えてください。

検定を受けたときは仙台の放送局に勤めていました。「この検定は宮城県に関わる仕事をしているなら取っておけ」と、部下に言いつたんです（笑）。そのためにはまず自分が資格を持っていなければ説得力がないだろということ

で、1級試験の開催初年度に受験して合格しました。やはりアナウンサーや記者が宮城のことを喋ったり、記事を書いたりするなら、この資格を取得しておくべきだと思いましたね。

一では、1級を取得してよかつたことは? まずは県内のいろんな施設を割引額で利用できる合格者の特典があること（笑）。それはとして、1級保持者だけが集う「いっきゅう会」で他の合格者と出会うのは刺激的ですね。それそれに得意分野があつて、自分以外にもものすごく詳しい人がいるんだと驚きました。こういう方

たちと交流できるのはすごいことだと思いますし、私自身もさらに勉強になります。

今年の春は秋保に行きました。過去には多賀城や白石、岩出山などに赴き、歴史を学んだり地域のものを食べたりもしました。研修会ではそれぞれ自

たが得意な分野について話すので、自分たちがガイドになりつつ学び合うという場になつた。研修会ではそれぞれ自

た。研修会ではそれぞれ自分たちと交流できるのはすごいことだと思いますし、私自身もさらに勉強になります。

一最後に、今後の展望は?

1級合格者の人たちは、

様々なエリアでボランティア

宮城マスター検定1級保持者
「いっきゅう会」会長
佐藤 敏悦さん

1級合格者カードを持つ佐藤さん。
カードのゴールドと笑顔がまぶしい！

宮城マスター検定関係者への聞き込みを終えたイタリー。
夕陽を見つめる彼の心には、不思議な気持ちが湧き上がっていた。

ガイドなどをしていますが、「いっきゅう会」としても地域に貢献していくことを計画しています。震災のあとメンバーで南三陸町へ行ったとき、宮城の素晴らしさを伝えるクイズ大会を開催したんです。自分たちの地域が復興していくためにも、かつてどうだったのかを知つておくことが必要だろうし、地域とまったく無関係な復興はありえない。自分たちの地域にこれだけいるんじゃないものがあったんだと改めて知つてもらうことが大切ですから、復興

のためにも宮城マスター検定の知識を活用したい。そのためにも宮城の魅力を発信するものとして何か欲しいなどずっと思つていて、今年は宮城県と連携しながらいくつか企画を進めています。ひとつはバスツアーマチ歩き企画。1級合格者の方の話を聞きながらまち歩きをして、県内を知るきっかけをつくりたい。そして、もう一つは冊子の制作です。地域のことを誇りに思えるように、宮城県にある日本一をテーマにまとめているところです。

大学進学で私は地元を飛び出し東京で暮らしていた。しかし、心のどこかで地元が好きだという気持ちがあるにもかかわらず、地元のことを何も知らない出て来てしまったという後悔と郷愁があり、刑事となつてまた宮城へ戻ってきた。そして、地元のことはなんでも知りたいという気持ちで、日々地域で起ることを捜査している。

「宮城って何があるの?」他県の人からこんな質問を投げかけられたとき、あなたはなんと返すだろうか。まづ松島を思い浮かべる人もいれば、「何もないよ」と答えてしまう人もいるかもしれない。この質問にたくさん選択肢を用意して回答できる人はどれくらいいるだろうか。実際は何かあるはずなのに、何もないと決めつけてはいらないだろうか。宮城マスター検定は宮城には「何かある」を気づかせてくれるきっかけになる。

今回出会った宮城マスター検定とそれに関わる方たちのお話。1級合格者は宮城にまつわるあらゆる出来事や歴史に対して、積極的に関心を抱き、なんでも知つて

次回!
刑事イタリー
広瀬川に沈む!

※この企画は連載ではありません。



仙台花壇団地。団地内の樹木の大きさが団地の歴史を一層感じさせる。その縁は広瀬川の景観に緩やかにつながっている

川面に映る まちを見た日

語り／板橋友幸

広瀬川はさとう宗幸

歌に出てくる場所に
過ぎなかつた

音が聞こえる瞬間、すうっと抜けていった。

ある日、「べランダに出てみると、川に浮かぶカヤックが見えた。當時はそれが何か分かっていないので、正確に言えば「何だ、あれは」という感じ。あっちからこっちはどう見えているんだろうか。

居ても立ってもいられずカヤック教室に参加した。小さなカヤックにひとり乗り込み、基本的な動作を教わり、その日のうちに初めてのツア―。もちろん、すぐには沈した。そうか、広瀬川ってこんなによかつたのか。広瀬川がある仙台も、もしかしたら面白いのかもしれない。

東日本大震災発生。ボランティア活動に参加した。カヤック好きの人たちと出会い、いかにカヤックが面白いかという話を聞かされる。平成24年6月、カヤックを購入。すぐに広瀬川を下った。

のめり込むうちに、青葉山の間を縫う渓谷のような中流域が街のど真ん中にある、この景観が貴重なものであることが分

町の名の由来まで気になり、まるで探検隊のように草をかき分け川の近くを歩いた。あんなに光で、まちが輝いて見えた。

妻と河原で夕日を見ながらビールを飲んだ。娘を抱えた妻がベランダに出て手を振った。川から手を振り返した。娘をおんぶして毎朝散歩した。サケが上つてきている、季節の花が咲いている、虫が飛んでいる。それらを見つけては、まだしゃべれもしない娘に声を掛けながら川を歩いた。

振り返つてみれば奇跡のような5年間だった。花壇団地は平成30年に取り壊されることが決まっていた。契約切れにより仕方なく引っ越し、川下りをする回数は減った。それでも桜の咲く春、青葉がまぶしい初夏、紅葉が美しい秋、娘を連れて川沿いを散歩し、まだ取り壊されていない花壇団地へ足を運び、柵を越えて土手から広瀬川を眺めていた。

川・流れる岩辺～ト」で始まる、昭和52年のさとう宏幸さんの大ヒット曲「青葉城恋唄」

川へ流れる岸边マリ」で始まる、昭和33年のさとう宗幸さんの人気外曲「青葉マリ」で「杜の都」という雅称や「庄瀬川」の名前も全国的に知られるようになった。

アに乗ったままの状態で、ひっくり返ること

かつての周辺の地理や史跡、町の名の由来まで気になり、まるで探検隊のように草をかき分け川の近くを歩いた。あんなに関心のなかつた仙台に、急に興味が湧き始めた。水面に反射する光で、まちが輝いて見えた。妻と河原で夕日を見ながらビールを飲んだ。娘を抱えた妻がベランダに出て手を振った。川から手を振り返した。娘をおんぶして毎朝散歩した。サケが上つてきている、季節の花が咲いている、虫が飛んでいる。それらを見つけては、まだしゃべれもしない娘に声を掛けながら川を歩いた。振り返つてみれば奇跡のようなく引つ越し、川下りをする回成30年に取り壊されることが決まつていた。契約切れにより仕方なく5年間だった。花壇団地は平成30年に取り壊されることが決まつていた。契約切れにより仕方なく引つ越し、川下りをする回数は減った。それでも桜の咲く春、青葉がまぶしい初夏、紅葉が美しい秋、娘を連れて川沿いを散歩し、まだ取り壊されていない花壇団地へ足を運び、柵を越えて壇手から広瀬川を眺めている。

川・流れる岩辺～ト」で始まる、昭和52年のさとう宏幸さんの大ヒット曲「青葉城恋唄」

川へ流れる岸边マリ」で始まる、昭和33年のさとう宗幸さんの人気外曲「青葉マリ」で「杜の都」という雅称や「庄瀬川」の名前も全国的に知られるようになった。

アに乗ったままの状態で、ひっくり返ること

まだ気付いていない人がいる。
身近な資源の価値に
さらに豊かにしている人がいる。
その光景の一部となつて
川に導かれた人、
川沿いにたたずむ人、川を下る人、
それぞれの目に映る川の先に、
まちの姿が見えてくる。

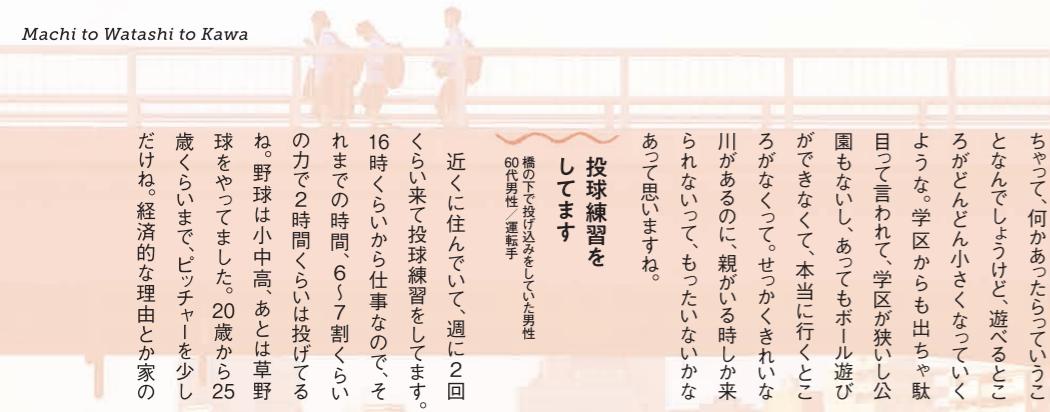
かわわたしとまち

*Machi to
Watashi to
Kawa*



宮沢橋の下から街の中心部を望む

企画・デザイン／板橋友幸 構成・文／菊地正宏 写真／嵯峨倫寛



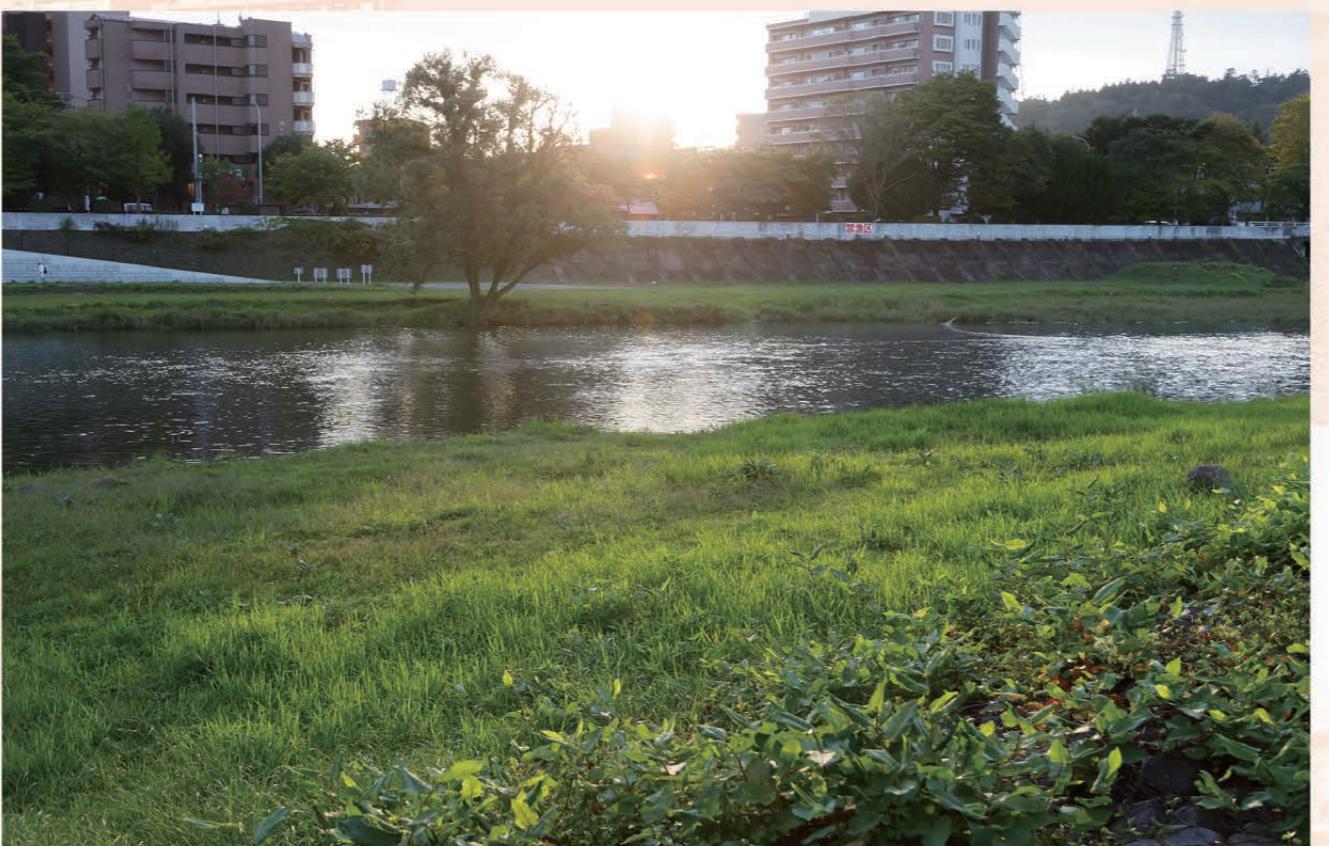
青葉山だってもともと
河床だった
橋の下で何かの塊をなさいていた
20代男性・学生

ここに竜の口層という地層が
出ているんですけど、そこから出
る化石の調査、研究をしていま
す。去年まで東北大で学生をし
ていて、いまは名古屋の大学で修
士課程です。角五郎に住んでい
たので通学の時に橋からこの場
所をチェックしていました。貝の
化石が密集している層があり、こ
こに化石が出ることは分かってい
たんですが、研究報告例がなく、
じゃあ自分がやるかということで、
報告されている中ではクジラが
出ますね。500万年前くらい
に積もった地層んですけど、そ
の時はまだこら辺は海で、いま
は川になって、近くの隆起だった
り海水準が下がったりとか、わ
れわれのまちに出てるわけです。
広瀬川は河岸段丘形成で、あそ
こにも段々になっているのが見え
ますね。

投球練習を してます

橋の下で投げ込みをしていた男性
60代男性・運動手

ちゃんと、何かあつたらっていうこ
となんでしようけど、遊べるとこ
ろがどんどん小さくなっていく
ような。学区からも出ちゃ駄
目つて言われて、学区が狭い公
園もないし、あってもボール遊び
ができなくて、本当に行くところ
がなくつて。せっかくきれいな
川があるのに、親がいる時しか来
られないって、もつたいないかな
あつて思いますね。



広瀬川橋付近。沈む夕日が川を照らす

ると学校にすぐ通報が行つ

ちゃつて、何かあつたらっていうこ
となんでしようけど、遊べるとこ
ろがどんどん小さくなっていく
ような。学区からも出ちゃ駄
目つて言われて、学区が狭い公
園もないし、あってもボール遊び
ができなくて、本当に行くところ
がなくつて。せっかくきれいな
川があるのに、親がいる時しか来
られないって、もつたいないかな
あつて思いますね。

川の景色は 変わらないねえ

花壇の手入れをしていた
80代男性・無職

近くに住んでいて、週に2回
くらい来て投球練習をしてます。
16時くらいから仕事なので、そ
れまでの時間、6～7割くらい
の力で2時間くらいは投げてる
ね。野球は小中高、あとは草野
球をやつてました。20歳から25
歳くらいまで、ピッチャーを少し
だけね。経済的な理由とか家の

事情があつて離れて、本気でや
らなくなつたですね。本気でやつ
たつて食べていいな、やっぱり
仕事をしなければ駄目ですから。
プロを目指していたか？いやいや
や、子どもの頃は目指していた
けど諦めましたね。48～49歳く
らいで健康のために、若い頃を
思い出して投げ始めたんですけど
、これまでの20年間くらい投げ
た、それまで20年間くらい投げ
なかったですから。スピードガン
いや、軟式で138だつたらいま

ここに置いて向こうの方を散歩し
て戻つてみたら、なくなつたんで
すよね。1万4、5千円くらいの
安いやつだけど、誰か持つていつた
んだね。あとグローブも2回な
くなつてたなあ。年を取つてか
くなつてたなあ。年を取つてか
らもスピードを出せるようにし
てるんですけどねえ。やっぱり年
齢つづのには勝てないもんだね。
いっぱいいますよ。もう60だから
ね。まちの草野球くらいなら少
しくらい通用するかもしれない
けど、やってみたいとは思わない
ねえ。こうして川に来て投げる
だけでもいいよ。

軒中学校の生徒たちが管理して
いるのと、南木町小学校が管
理する花壇もありますね。生徒
たちがここに来て、年に2回植え
替えをやるんです。私はね、そこの
後ろにある公園の近くで暮ら
していますから。暇つぶしでやつ
ているようなもんで、まあ、ボラ
ンティアとすることになるんです
かねえ。朝晩散歩する人もいる
しまランソんやつている人もいる
に、草ぼうぼうの花壇じゃうまく
ないからね。私は年金暮らしだ
すから、何もしてないと頭がぼけ
てしまつて、介護のお世話になる
から。それよりもこういうふうに、
自然の中で仕事をしている方が
いいですね。あとは犬つこと、この
辺を散歩するとか。ばあさんは
もう5年前に亡くなつてね。私
の方が早いと思ったらばあさんの
方が早かつたなあ。この辺で暮ら
してもう五十数年。川の景色は
変わらないねえ。

これは南木町地区連合町内
花壇の手入れをしていた
80代男性・無職

ますよね。青葉山だってもともと
と河床だった場所ですし。そうい
う意味ではすごく面白いかなと。
川との親しみで言えば、対岸で
渓流釣りしている人たちの方が
親しんでいるのかもしれません。
もしろ僕らは環境を破壊してい
るようなもので申し訳ないとい
うか…面白い生態系もあって、
本当にきれいな川なので、人間の
工事で生態系を崩すようなこと
はあってはならないと思います。
ちょうど説得力がないですけど。

川にいる鳥に餌をやつてるん
だわ。カモとか白鳥、サギ、オシ
トリとかがいるね。慣れてくる
とみんな手から食べたり、口笛
で呼ぶと集まつたりするんです
よ。十何年前、白鳥の夫婦が
子どもを連れてこの川におつた
のを見たのが始まりで、ずーっと
餌をやり続けてるの。白鳥がいつ
かにも段々になっているのが見え

川にいる鳥に餌をやつてるん
だわ。カモとか白鳥、サギ、オシ
トリとかがいるね。慣れてくる
とみんな手から食べたり、口笛
で呼ぶと集まつたりするんです
よ。十何年前、白鳥の夫婦が
子どもを連れてこの川におつた
のを見たのが始まりで、ずーっと
餌をやり続けてるの。白鳥がいつ
かにも段々になっているのが見え

ぱい来る人と人も集まつてきて、力
メラマンも来るし、園児たちが
来ることもあってにぎわうんだ
よね。何とかにぎやかにしたいな
だけど…。けがをする鳥が増え
ちゃつた。人間のいたずらとか、
引っ掛かることもあるし、捕ま
えて食べるやつなんかもいるって
聞くよ。オシドリなんかもいっ
ぱい来る人と人も集まつてきて、力
メラマンも来るし、園児たちが
来ることもあってにぎわうんだ
なるんですよ。いろんな人がお
るからね…。

白鳥の夫婦が
子どもを連れて
鳥餌をやつした男性
60代男性・無職

家族にとつては
身近な川
40代女性・主婦

子どもを遊ばせに来ました。
家にいると子どもたちはヨー
チューブばかり見ていて、そい
う環境がないところに行かない
と駄目だと思って、河原に来て
いるんです。ほかに2人上にいて、
一番上はもう18歳なので、最初
に子どもと来たのは10年くら
い前ですかね。ボートに乗つたりも
しましたし、今度また芋煮会で
来ますし、白鳥に餌をやりに来
たりもしますし、家族にとつては
身近な川ですね。お金もかから
ないし。ただ、小学生だけで来
ちゃ駄目つて決まつていて、親が一
緒じゃないと小学生は来られな
いんです。子どもだけで遊んで

会が管理している花壇。あと、八
軒中学校の生徒たちが管理して
いるのと、南木町小学校が管
理する花壇もありますね。生徒
たちがここに来て、年に2回植え
替えをやるんです。私はね、そこの
後ろにある公園の近くで暮ら
していますから。暇つぶしでやつ
ているようなもんで、まあ、ボラ
ンティアとすることになるんです
かねえ。朝晩散歩する人もいる
しまランソんやつている人もいる
に、草ぼうぼうの花壇じゃうまく
ないからね。私は年金暮らしだ
すから、何もしてないと頭がぼけ
てしまつて、介護のお世話になる
から。それよりもこういうふうに、
自然の中で仕事をしている方が
いいですね。あとは犬つこと、この
辺を散歩するとか。ばあさんは
もう5年前に亡くなつてね。私
の方が早いと思ったらばあさんの
方が早かつたなあ。この辺で暮ら
してもう五十数年。川の景色は
変わらないねえ。

流れる川に 流されて

広瀬川下りを終えて

文/嵯峨倫寛 モデル/イタリーさとう

牛越橋近くの広々とした河川敷。僕と板橋さん、よつくん(イタリーさとう)の3人で、芋煮会を楽しむ大学生を尻目にカヤックを組み立て始めた。空は曇っているが、思いの外暖かい。あでもないこうでもないと言いながら30分後、今日僕らが命を預ける2艇が完成。広瀬川へとこぎ出した。

最初の難所を過ぎて撮影ボ

イントに近づくまでは、板橋さん

とよつくんがペアとなり、僕がソ

ロでこいだ。浅い川底に悪戦苦闘する僕を尻目に、2人は急速難所へ突入。直後、よつくんは水の壁に吸い込まれびしょぬれになつた。僕も2人に遅れて突入し、やつぱりびしょぬれに。そうなるともう何かが弾けて、瀬を渡る度に「フォーー」と奇声を発しながらハイテンションで川を下つていった。

空は秋晴れに変わり、高揚した気分とパドルの操作で体が温まる。「言ひには『最高だな』

「気持ちいい!」しか出てこない。撮影ポイントに近づき、カヤック

操作にも慣れたよつくんがソロでこぎ、僕は撮影に専念するためには板橋さんとペアに。よつくん

をモデルに撮影を進めていく。川面に反射する光がいい感じだ。ふいに川底をのぞくと、そこにはびつしりと貝殻の化石が表出し

ていた。

先を行くよつくんが、橋脚にカヤックを寄せて、いつたん船から降りた。どうやら、カヤックの中に入り込んだ水を出しているよ

うだ。そして再び乗り込もうとした瞬間、「あつ」という声の後

に盛大な水しぶきを上げて力

ヤックを転覆させ、見事な「沈

」を披露してくれた。「何もないところで沈したよ」と板橋さんもご満悦。

船旅もよいよ佳境へ。なおも浅い川底と格闘しながら川を下り、撮影を進める間に日が傾き、空が少しずつ赤くなっていく。

秋が進み、冬へと近づいていることを感じさせる日の短さだ。そ

んな感傷に浸つていると、後ろから「やべっ」という声が聞こえ、氣付くと僕らの乗るカヤックも

「沈」していた。川底に引っ掛けた船底を流れに戻した矢先、バランスを崩したのだ。

「嵯峨さん、カメラーー!」「大丈

夫です! 確保します! ピエー!」

見事に首まで水に浸かり、おま

けに少しばかり流されたが、板

橋さんが用意してくれた防

水バッケにカメラを入れていた

もうとしていたのを思い出し、

バックをそのままカヤックに積

みた。想像より温かい川

の水に身を浸しながら、「歓迎

されているな」と思つたり思わ

なかつたり。

日が暮れかかる頃、2艇は無事目的地にたどり着いた。さすがに少し肌寒いが、下がり始めた

気温とは裏腹に、「これはやはり

カヤックを買うしかない」と僕の心が熱く語り掛けていた。

川を下つて、山に登った時と似たようなことを感じた。自分という存在の小ささ、そして、

この中で人間は生きてきたのだ

などいう、DNAに刻まれた記憶のようなもの。もし今日一人で下ついたらと考へると、怖く

なる。そういう「恐怖」が山岳信仰や自然信仰になつたのだろう

と、実感を伴つて想像できる。

広瀬川の対象と自分たちの生活と

の境界があいまいな場所だ。大

げさに言えば、死ぬかもしれない

状況に身を置きながら、目には見慣れた景色が飛び込んでくる。

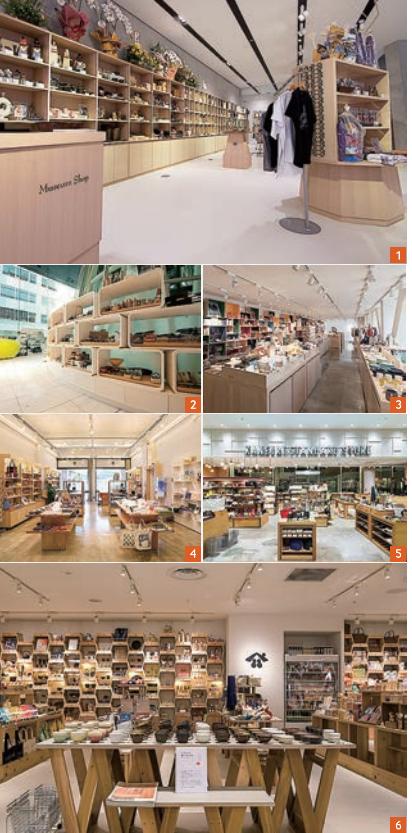
川に「こぎ出した」からこそ初めて感じたことだった。境界をま

たべことで新しい価値観や感動を得られることを、思い出させてくれる一日だった。

また少し、人生が楽しくなり

そうだ。





1 カネイリミュージアムショップ(八戸ポータルミュージアムはっち1F, 2011-) / 2 カネイリミュージアムショップ6(せんだいメディアテーク1F, 2012-) / 3 カネイリスタンダードストア(盛岡駅ビルフェサンテラス1F, 2014-) / 4 TUAD STORE(東北芸術工科大学内, 2016-) / 5 カネイリスタンダードストア(仙台駅ビルエスパル仙台東館3F, 2016-) / 6 東北スタンダードマーケット(仙台バルコ2 5F, 2017-)



KANEIRI



KANEIRIロゴマーク / 2011年にオープンしたカネイリミュージアムショップのロゴマーク。店内章匠・包装紙等のデザインは日本を代表するデザイナー・北川一成氏によるもの。ロゴマークは、明治・大正時代に魚船等の卸売を商いとしていた金の屋号をモチーフにしており、言語に依らず雪国東北の地域性をグローバルに発信できるデザインとなっている。

東北は、日本人なら誰もが知る郷土玩具「こけし」^{*1}発祥の地。ほかにも、八戸焼きのよくな民窯や、こざん刺しに代表される生活の知恵から生まれた民芸品など、各地で継承された伝統の技術が、いまも数多く残る場所です。

民俗学的背景を考えてみると、東北と言えばイタコやオシンラサマ、山伏といった民間信仰や、時の政治と関わりながら伝承されてきた鬼剣舞や鹿踊などの芸能が、それぞれの地

域で受け継がれていることがあげられます。また、厳しい風土に生きる苦しみや喜びは、民話としても語り継がれてもきました^{*2}。そういう信頼と豊かな語りの土壤が色褪せることなく現存しているからこそ、東北の伝統的な工芸品や民芸品もまた多くの人に愛されているのかもしれません。

一方、経済的側面から考えると、高度経済成長期の昭和30年代から40年代に、全国的に流行した団体旅行客や観光客向けに、多くの工芸品が販売されました。東北には鳴子をはじめとした全国有数の温泉地があり、工芸品を購入するには多くの場合、そういう旅先であったと考えられます。

以上のような、文化的な背景と経済的変数が複雑に作用するなかで継承されてきた東北の伝

東北 STANDARD の挑戦 & カネイリ ミュージアムショップ

域で受け継がれていることがあげられます。また、厳しい風土に生きる苦しみや喜びは、民話としても語り継がれてもきました^{*2}。そういう信頼と豊かな語りの土壤が色褪せることなく現存しているからこそ、東北の伝統的な工芸品や民芸品もまた多くの人に愛されているのかもしれません。

統的工芸品も、売上高でみれば前述の通り衰退の一途をたどっているのが現状です。そんな斜陽産業とも呼べる業界で、新たな挑戦を始めた株式会社金入3代目社長の金入健雄さん。2011年、「八戸ポータルミュージアムショップ」を機に、現在までに青森・岩手・宮城・山形の4県に計6店舗を展開しています。

*1 :「こけし」の名付け親は、仙台出身の天江富助(あまえ・とみや)と言われている。昭和3(1928)年には『こけし這子(ほうこ)』の「なし」を出版。これが、第一次こけしブームのきっかけとなった。なお、仙台市宮町にある郷土酒學「炉ばた」も天江が開いた店で、「炉端焼き」の発祥の店とされている。

SHIGEN TOSHITENO DENTO

東北を活かす 伝統 資源

SHIGEN TOSHITENO DENTO



かつては、一般家庭の玄関先や居間の戸棚に、地域の伝統工芸品や郷土玩具、民芸品のたぐいが陳列されているというのに、あたりまえの景色でした。しかし、個人の趣向やライフスタイルの変化に伴い、現代人の住環境から影を潜めて久しいのが、まさにそういう品々ではないでしょうか(下図参照)。

そんななか、東北の風土に根ざした伝統工芸品や民芸品に着目し、つくり手のサポートを兼ねたプロジェクト「東北 STANDARD」が、2012年に青森県八戸市に本社を置く「株式会社金入」によりスタートしました。毎年月をかけて伝承されたものづくりを「東北のスタンダード」と考えるプロジェクトは、今年で7年目を迎えます。

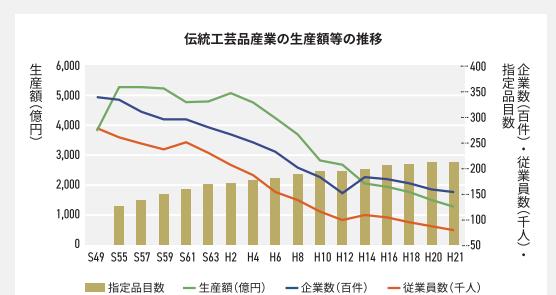
少子高齢化が目の前の課題であるいま、「株式会社金入」のチャレンジを通して、東北を活かす手立てとしての伝統工芸品や民芸品について考えます。

伝統工芸品産業の課題

- ・売上減少による雇用限界
- ・後継者不足
- ・材料や製造用具等の不足

期待される今後の活路

- ・インバウンド効果
- ・オリンピック開催に伴う日本文化への再注目
- ・行政や産地組合のバックアップ



(出典:財團法人伝統的工芸品産業振興協会調べ)

▲日本の伝統工芸品産業の生産額は、昭和55(1980)年をピークに、ほぼ右肩下がりの状態。図では明示されていないが、織物産業の売上減少が著しいことが影響している。矢野経済研究所「きもの年鑑」によると、呉服の小売金額は昭和56(1981)年には約1.8兆円あったものが、平成25(2013)年には3,010億円と6分の1まで減少しているといふ。

四季の八幡馬

夏はマリンスタイル、秋は中秋の名月など、南部地方の四季や風土をデザインに落とし込んだ「四季の八幡馬」。八戸市出身のデザイナー田名部敏文さんをはじめ、八戸ゆかりの作家のアイデアを元に株式会社八幡馬の高橋さんが制作。



八

や

幡

わた

馬

うま

伝統的な八幡馬

良馬の産地だった南部地方に伝わる郷土玩具。福島県の三春駒、宮城県の木ノ下駒と並び日本三駒のひとつに数えられている。木材を丁寧に削り出したふくらとした身体には華やかな装飾が施され、祝い事の記念品やお土産などとして現在も親しまれている。

別注水色カラー

金



こ

ぎ

ぎ

ん

刺

し

(青森)

弘前こぎん研究所オリジナル商品

「弘前こぎん研究所」とのコラボで生まれた、鮮やかなエメラルドグリーンに染め上げたこぎん刺し。天然染料による渋い色合いが多いこぎん刺しが、鮮やかな色合いも相性は◎。



南部裂織「kofu」

金

伝統工芸士の井上澄子さんとのコラボで生まれた「kofu」。南部裂織の技法はそのままにステーショナリーとしてデザイン。2013年度にはグッドデザイン賞も受賞し、スタンダードなチェック柄をベースに、パステルなどのカジュアルなパターンも展開しています。



南

なん

部

ぶ

裂

さ

織

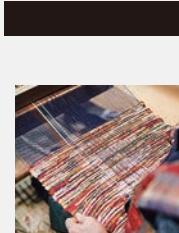
おり

岩

手

南部裂織工房

木綿糸を経糸に、緯糸には裂いた古布を織りこむ青森県南部地方独特の織物。布を織り込むことで丈夫で温かく、こたつ掛けや仕事着、帯として重宝されてきた。布の柄や色、木綿糸との組み合わせによって、さまざまな表情が生まれるのも古布ならではの魅力。



常盤型染復刻「東北 STANDARD 手ぬぐい」

金

名取屋染工場とのコラボ手ぬぐい。名取屋の所蔵する常盤型のモチーフはそのままに、型染師・佐々木邦子さんの新型を組み合せることによって、普遍的かつモダンにアレンジ。デザインは仙台のデザイン事務所NOKOのモロネサトルさんが担当。



常

ときわ

紺

こん

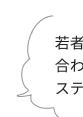
がた

ぞめ

(宮城)

名取屋染店オリジナル手ぬぐい

江戸時代後期より仙台を中心に発展してきた型染め。十字や菱形などの絢爛模様をはじめ、花や蝶などの多彩な模様が作られ、常盤型で染めた浴衣は仙台浴衣として、東北各地をはじめ、北海道でも親しまれてきた。現在は名取屋染工場がその伝統を守り続けている。

まだまだあります！
伝統×クリエイティブの応用編

若者のライフスタイルに合わせたお土産品やステーショナリーも！



東北 STANDARD まめぐい

株式会社かまわぬとのコラボで制作。東北6県の文化や工芸品、歴史上の人物などをイラスト化した「まめぐい」のなかにはご当地ならではのお菓子が。



こぎん刺し柄マスキングテープ

kigin.netとの共同開発。こぎん刺し模様を再現した総刺し柄とこぎん刺しの模様を図鑑のように楽しめる「モドコ図鑑」の2種類。

東北から発信するスタンダードという価値軸

事業承継にあたり、「自分の家族や友人が、自分たちの街で楽しく生きていくにはどうしたらいいか」を真剣に考えた結果が、最先端のアートやデザインを扱うミュージアムショップでの工芸品販売だったと語る金入さん。新規性和伝統の両軸で展開することの相乗効果について、〈東北 STANDARD〉オンライン展開とイチオシ商品から考えます。

オンライン版〈東北 STANDARD〉

<http://tohoku-standard.jp/>

CONCEPT

東北には、厳しい環境の中で生まれ、伝わりつけたものづくりがあります。工夫や知恵、想いを受け継ぎ、伝統技術を深めながら進化させ、伝えていく人々がいます。

東北 STANDARDは、東北のものづくりを軸として、東北に根付いた「暮らし方」を見つめる視点です。

私たちが訪れる紹介する先は、現在の東北地方の断片的な風景です。しかし「豊かな暮らし方」の定義が改めて問われる今、その場所に伝わる工夫や知恵は、日本に限らず世界の人々に、新鮮な感覚をもたらす可能性を潜めていると感じます。

これから東北の工場や工房を訪ねて紹介します。「伝統工芸」、「美術」、「食」、「建築」、「音楽」をはじめとした、永い年月をかけて伝承されたものづくりの周辺（東北 STANDARD）を記録します。そして対話・映像・書籍・ショップ・展覧会など、様々な媒体を用いて東北から世界に発信し、東北のものづくりの根底に流れる美意識や精神を未来へとつなげていきます。

(抜粋)



ウェブサイトには、〈東北 STANDARD〉で取り扱う東北6県の伝統工芸品や民芸品のつくり手インタビューのほか、それぞれと密接する土地の風土を紹介するコンテンツも。2018年11月現在、以下の17の紹介ページと動画が公開されている。

カセ鳥(山形)／デコトラ(青森)／鹿踊(岩手)／南部伝承イタコ(青森)／けんか七夕(岩手)／曲げわっぱ(秋田)／樺細工(秋田)／庄内刺し子(山形)／お鷹ぼっぽ(山形)／常盤紺型染(宮城)／仙台こけし(宮城)／秀衡塗(岩手)／南部鉄器(岩手)／大船相馬焼(福島)／会津張り子(福島)／こぎん刺し(青森)／南部裂織(青森)



去る2月、とうほくあきんどでざいん塾が主催するトークイベント「東北から考える、2020年のその先へ」*1に登壇いただき、示唆に富む数々の話題を提供してくれた『WIRED』日本版の元編集長・若林恵さん。著作刊行*2を記念した来仙にあわせ、〈東北STANDARD〉の金入健雄さんとプランナーの唐津さんとともに再びのトークに登壇いただきました。

「伝統工芸品や民芸品をのこす／まもる／伝える必然とは？」を
テーマに進めた今回の結末はいかに!?



一方、デジタルテクノロジーを扱う『WIRED』元編集長の若林もんが、大学を卒業して最初に就職

「ブックと一緒に並べ販売していました。八戸に外から来る方にお土産を販売する場所ができることで、地元のデザイン・マインドも上げられると思いましたし、お土産品自体の価値も上げられるんじゃないかなと考りました」

がどんどん生まれていく。俺は陶芸家になるんだって言つて作つちゃ

「00年代に入つて唐津や備前の土
がネットで買えるようになり、電
気窯も安価になつてクオリティ一
が上がり、土地の制約を受けない
陶芸家が現れました。かつては、
権威や強固なヒエラルキーのものと
価値軸が決定されていたものが、

* 2：若林恵『さよなら未来工』（ダイターネット）
＊1：採録記事を『どうほくあきんど』で
さいん2018春に掲載。

＊4 白添正子（しらぞえ まさこ） 1910—1998
東京生まれ。幼い頃より能を学び、14歳で女性として初めて能舞台に立つ。1928年、米国への留学から帰国。翌年白洲次郎（1902—1985）と結婚。古典文学、工芸、骨董、自然などについての随筆を執筆。『能面』『かくへり』『日本とくみ』『西行』等、著書多数。





しか書いてない。でも彼はすごい
目利きなんです。訓練すればする
ほど、ものの良さは明らかなもの
にしていくのは、あんまり」「コト
じやないような気がするんです」

*5・三品輝起『すべての雑貨』(夏葉社
2017年)
東京の西荻窪にある雑貨店「FAL」の
店主によるエッセイ集。21世紀に入り爆
発的に増えた雑貨屋、さらには雑貨とは
なにか?を一から考えた本。

えば陶芸家はなるんです。すると、
「雑貨屋」というものがやたら増え
ていくところ」とがパラレルに起
る。西荻窪で雑貨店を営む三品輝

起さんの『すべての雑貨』(夏葉社、
2017)。^{*5} という本には、飛行
機や建物まですべてのものが雑貨
になる世界を想像してみるとあ
ります。実際、街なかでいい感じ
の建物なんかを見つけて写真を撮
りSNSにアップするというの
は、洒落た雑貨を買って写真を
アップしたときと完全に等価なん
ですね。『WIRED』的に言うと、
あらゆる情報がデジタルプラット
フォーム上では、均等で等価なも

のはなつでしまうということです。
でも、すべてのものが雑貨化して
いくというのは、ちょっとホラー
ですね。

某大型書店をはじめ、雑貨と書
籍を組み合わせた書店が全国に増
えるいま、金入さんのショップで
棚のセレクトを担当する現場のス
タッフも、「なにを扱い伝える店な
のか」というのは、デリケートに
側に委ねられ、価値観の合う人同

が書いてない。でも彼はすごい
目利きなんです。訓練すればする
ほど、ものの良さは明らかなもの
にしていくのは、あんまり」「コト
じやないような気がするんです」

*6・青山二郎(あおやま・じろう 19
01-1979)
東京の資産家の家に生まれ
幼い頃から
絵画や映画に興味を持ち、自ら美術才を
發揮。中学生の頃から焼き物・骨董品蒐
集にも興味を持ち、26歳の若さで実業家、
横河民輔の募集した中国陶磁器2000
点の図録作成を委託されるなど、その鑑
識眼は天才的と評された。

えは陶芸家はなるんです。すると、
「雑貨屋」というものがやたら増え
ていくところ」とがパラレルに起
る。西荻窪で雑貨店を営む三品輝

起さんの『すべての雑貨』(夏葉社、
2017)。^{*5} という本には、飛行
機や建物まですべてのものが雑貨
になる世界を想像してみるとあ
ります。実際、街なかでいい感じ
の建物なんかを見つけて写真を撮
りSNSにアップするというの
は、洒落た雑貨を買って写真を
アップしたときと完全に等価なん
ですね。『WIRED』的に言うと、
あらゆる情報がデジタルプラット
フォーム上では、均等で等価なも

のはなつでしまうということです。
でも、すべてのものが雑貨化して
いくというのは、ちょっとホラー
ですね。

某大型書店をはじめ、雑貨と書
籍を組み合わせた書店が全国に増
えるいま、金入さんのショップで
棚のセレクトを担当する現場のス
タッフも、「なにを扱い伝える店な
のか」というのは、デリケートに
側に委ねられ、価値観の合う人同

が書いてない。でも彼はすごい
目利きなんです。訓練すればする
ほど、ものの良さは明らかなもの
にしていくのは、あんまり」「コト
じやないような気がするんです」

◆ フィンランドのガラス会社
「iittala」^{*7}では、ティモ・サルバネ
ヴァ^{*8}やタビオ・ウイルカラ^{*9}といっ
たモダンデザインの匠に、商品で
はなく、定期的にアートピース(作品)
を発注している。職人と会話を重ね
ながら、どう実現するかを時間をか
けて検証し、「なるほど」ということ
が新しい技術として使えるぞとなり、
その後に商品化されていくという流れ
があった。



◆ DJ機器メーカーの「Vestax」^{*11}
の社長は、自分が思い描く製品を作
れる工場を厳密に選ぶし、本当に技
術があるところとしか組まないとい
う方。彼は「俺ら企画屋は、経済的に
も技術的にも下請けの工場を育てて
いくのが義務だ」と言う。同じことば
かり依頼していると技術は落ちていく
し、ここまで出来たらから次はこれ
ができるよねというオーダーをし続ける
ことが、企画者のミッションである。

*8・ティモ・サルバネヴァ(1926-
2006)
フィンランドのデザイナーとして世界
的な影響力をを持つデザイナーであり、彫
刻家であり、教育者としても活躍。芸術
と実利のデザインが融合された、先駆的
なガラス作品を多数手がけ、フィンラン
ドデザインの国際的な評価を高めること
に寄与。

*9・タビオ・ウイルカラ(1915-1
985)
フィンランドを代表するデザイナー、彫
刻家。1947年、iittala社のデザインコン
ペに優勝。1951年、ミラノで行わ
れたトリエンナーレで三部門金メダルを
受賞し、名声を不動のものとする。

*10・株式会社竹尾
1899年創業の紙の専門商社。色や風
味でも技術的な意味でもイノベーション
の連続で、紙や印刷、製本に対し
て無理無体な注文を出すというのが
クリエイターと呼ばれている人の仕事
だったとわかる。

◆ 紙問屋「竹尾」^{*10}の周年史をみると、
と、グラフィックデザイナーからの
オーダーで特殊紙を作ったり、印刷用
のインクを開発させたという逸話がた
くさん出てくる。クリエイティブな意
味でも技術的な意味でもイノベーショ
ンの連続で、紙や印刷、製本に対し
て無理無体な注文を出すというのが
クリエイターと呼ばれている人の仕事
だったとわかる。

◆ 友人の現代音楽家によると、19
20年代にイーゴリ・ストラヴィンス
キーが『春の祭典』を発表した当時は、
騒音だとさえ言われたが、60年代に
なると彼が使った技法がポピュラー
音楽で普通に使われるようになる。
一般の人たちの耳がそこまで拡張す
るのに40年くらいかかるんだ。なの
で、それを最初にやった人は儲からな
いけど誰かが資本を投下しない限り、
のちに売るものがないということが起
ること。

*11・ベスタクス株式会社
1977年に椎野秀穂が創業した日本の
音楽機材メーカー・ブランド。国産オリ
ジナルギターメーカーとして評価された
ほかDJ関連の機材などでも有名。音
楽市場の縮小、安価な外製品の台頭、
デジタル音源化などの影響を受け201
4年に廃業。若林恵の著書『さよなら未
来』に、椎野秀穂へのインタビュー記事が
掲載されている(pp.313-331)。

技術の保存を考える際には、革新させるドライブが必要と話す若

林さん。技術革新の宝庫は一に軍隊、二に宇宙開発といわれますが、文化産業も同様であり、さらにはマーケットの「ニーズ」に由来しないものづくりを、ある種の思考実験と

してもやつていくべきではないかと提言しました。^{*12}



〈東北STANDARD〉の活動は、現在進行形で悩みながらやつているという金入さん。「職人さんと話すときはマーケット目線を出さないようにと心がけていますが、そういうことではない、もつと対等な関係性というのを作つ

^{*12} :『さよなら未来』に収録の「ニーズに死を」
(pp.396-405) を参照。

ていかなくちゃダメなんだなと思いました。Vestaxの方や目利きと呼ばれた方たちのように、職人さんがどういう哲学でものづくりをしているかを理解しながら、次の展開を模索していきたいです」とコメントしました。

〈東北STANDARD〉の店舗に並ぶ、工芸品や民芸品の仕入れを担うある若手社員の方は、入社してからその魅力にはまり、いまでは自家用に買い求めたり、公私を超えての研究に余念がないそうです。そのきっかけを尋ねると、「いまの自分の暮らしと地続きであると気づいたから」と。民話が時代とともに形を変えつつ伝承されてきたように、彼らのような東北人が、しっかりと伝統の技と物語を未来に伝えてくれるのかもしれません。

おわりに

「そんなこと」が
わからぬから、



潜行アート

企画：混沌レインボー（コピー・ロゴ／脚、撮影・デザイン／嵯峨倫寛）

あなたの「資源」を教えてください。

仙台市域にお住まいの方々に向けてアンケートを実施し、
「資源」だと思うものごとについて、
その理由とともに自由にお答えいただきました。

日々の活力。その道のプロが何年もかけて得た知識やノウハウが、数百円出せば知ることができるから。

本

(sonic・38歳・会社員)
仕事の必需品であることは勿論、震災の時は通信が途絶えるまで離れた家族、知人へ無事であることをメッセージで残すことができました。

(いぎなりはんぱーぐ・31歳・会社員)

自分の中の子ども心

自分にとって、アイデアがひらめいたり、アイデアを生み出そうとする際、起点となるのは、自分や周囲が「面白い」と思えるかどうかということです。その判断基準の真ん中にいるのが、「自分の中の子ども心」です。子どもの心は直感的でシンプルなので、複雑な説明なんかなくとも、周囲に「面白い」が伝わると信じています。

(しんやす・34歳・グラフィックデザイナー)

音楽や電話での気持ちの切り替え、自分の身体や気持ちのスイッチを入れるのも切るのも自分だから。
(スタミ・58歳・介護職)

A4コピー用紙

打ち合わせ時のメモ書き、考えをまとめる時などに使用しています。

(wai・40歳・会社経営)

それがあって自分という感じ。普段気に留めない(強調していない)けれど、すごく大事なもの。無くては困る。

(左手にマヨネーズ・65歳・会社員)

自分にないスキル、経験、情報などを持つた人

実現したいことがあるけど自分一人ではできないことをするときに活用できる。さらには人をつなぐのである意味無限。
(K.M・36歳・経営者)

地元資源を掘り下げていて、有形だけでなく無形の地域資源も多いことに気づいた。例えばよそ者からみてただの空き地でも、その土地での出来事など、地域の記憶の多い場所は場所自体のポテンシャルが高く地域資源となりうる。そこは他の土地よりも、コトを起こしやすかったりする。そんな経験から記憶は資源だと気づいた。

自分で限界を決めるのはもつたない。諦めなければなんとかなるもんです(さつさと諦めた方がよいことも世の中たくさんありますけどね)。
(110・48歳・会社員)

推し

推しが頑張っているとわたしも頑張れるから。
(はなこ・22歳・学生)

自然

それがあって自分という感じ。普段気に留めない(強調していない)けれど、すごく大事なもの。無くては困る。

(左手にマヨネーズ・65歳・会社員)

無理、できない。

記憶

自分で限界を決めるのはもつたない。諦めなければなんとかなるもんです(さつさと諦めた方がよいことも世の中たくさんありますけどね)。

家族
(きつね村・33歳・デザイナー)
家族が増えるとそれまで自分ひとりの生活では関係のなかつた様々なことが急に気になります。

(K介・30歳・公務員)
家族が増えるとそれまで自分ひとりの生活では関係のなかつた様々なことが急に気になります。

人と会う時間
(相原洋・32歳・映像製作)
美味しいおはぎのお店を教えてもらったり、装いに季節の変化を感じたり、表情を見て受け取る言葉の意味が変わったり。会って生まれる出来事や、感情があるなと思います。ささやかなことの積み重ねかもしれないけれど、少し人生が動いているなど感じる時間です。

紙、布、プラスチック、顔料、金属などの素材

こういう物に囲まれて生活しているから。最近知つて驚いたのは、現時点では人工的に作り出すことのできないゼラチンの原料が牛や豚などの動物だということ。映画や写真のフィルムに感光膜として塗られる乳剤がゼラチンに感光材料を混ぜて固定させたものだということ。びっくり。

(相原洋・32歳・映像製作)

お金
(H.S・30歳・営業)
今の世の中、どこに行くにも、何をするのにも、何かをはじめたり、継続するのにも、生きていくにも必要なものだから。

経験
(漆田・35歳・NPO理事)
自分にとって大切な考え方、気づき、行動は過去の経験に基づいて生まれているから。

電動自転車
(竹取の翁・22歳・学生)
行動範囲を格段に広げてくれる。坂の多い仙台でとても役立ってくれる。車を持っていない自分にとって、足となる存在。少し遠いところに行くにしても電動自転車があるから行ってみようと思わせてくれる。

コスメデコルテの口紅

保湿力がすごく高いのか、塗っても他の口紅のように唇がガサガサにならなくて心地がよい上に、塗るとよく友達に「あれ、今日なんかいいね!」と言われる。それによって自分は「いい」寄りにいるぞ…と思えて、それで何となく力が湧き、快活に動ける気がしている、ので。

(ミミ・34歳・編集者)

出身や分野、世代を超えた人と人とのつながり

①自分以外の人は全て異文化であり、異文化との遭遇や交流が新しい文化を創造していく源になると思うから、また②地域の力は人(点)の数とそれをつなぐ線と線の太さの総和だと思うからです。

(ネズミのお宝・48歳・公務員)

質問される機会(体験)

質問されるまで、そんな視点・切り口で考えをまとめたことがないので、聞かれて初めて本気で考えることになる。相手にわかりやすく答えようと言語化することで、そのプロセスから気づきを得ることが多い。それが意外と、次の仕事(生産活動)のヒントになったりする。『資源』を生産活動のもととなる物資、と捉えるなら、人から質問される機会は私の場合、確実に生産性に繋がっている。今回のこの「資源とは」のアンケートもそう。この質問をされたおかげで発見があった。

(mimi・41歳・企画/コンサル)

やさしさ

他人に提供できる唯一のものだから。

(ららかん・21歳・学生)

スマートフォン

アブリで勉強時間を記録したり、食事を記録したり、自己管理に役立っているから。

(まんまるぼうや・22歳・学生)

ありがとうの言葉

自然と活力の湧く魂のご馳走だから。

(nug602・46歳・フォトグラファー)

森や林

緑や草花、虫、小動物などから、季節を感じることができ。散歩したり遊んだりしながら、爽やかさや気持ちよさを感じることができます。静かな気持ちで考えたりできる。人との語らいや子どもとの楽しく豊かな遊びとコミュニケーションがとれるところ。空気や水をきれいにする。

(サクラサク・64歳・団体職員)

旅
(西城・33歳・ライター/編集者)
普段見られないもの、こと、出会えない人、食べられないものとの出会いを通して、普段の自分の価値観を見つめ直し、新しい視点を持てるようになる。そしてその発見は、いっときの満足感や逃避感だけでなく、日常の仕事やプライベート、特に人の関わり合い、会話において發揮できる可能性があるという宝箱になる。旅がなければ、自分は狭い価値観だけで終わってしまっていたんだろうなということ 자체、旅で得られた大きな気づき。さらに最近、認知心理学の先生の取材で、新しい土地に出向くことは、海馬への大きな刺激になり、記憶力を高める、人生への肯定感・幸福感を高めることにもつながるのではないかといふ話を聞き、ますます旅することへの愛着がわいたところ。

(西城・33歳・ライター/編集者)

ききみみずきんは
よいすさん
かぶれば
いろいろ
きじこえてくるよ

かわみみざわん

スイス編

これはスイスの山

（ききみみずきん）を
かぶったかのよう
知つてるような
声に
耳を澄ませる
コーナー



アトリエでディスプレイに向かうミア。現在は大学院の同級生と一緒に部屋を借り、職場とは別のアトリエとしている。

その二：カン・ミアの生活

このコーナーでは、人生を分かり損ねたままいつの間にかスイスに流れ着き生活を送る筆者が、この偶然ながらも行き合わせた土地で周りの人の考えに耳を傾けてゆきます。

さて、今号の「資源」というテーマ。それは各人の生活をあまりに自然に支えているがゆえに、ただの当然として生活の中に無意識に溶け込みがちなのではないだろうか？また、そういう無意識は異文化に接した時に違和感として改めて認識されやすいものなのではないだろうか？…そう考えて、今回は「資源」を考える材料になるのではないかと、韓国からスイスの大学院へ進学し、すでに一年半強の異文化生活を経験しているユーザー工芸スペリエンス（UX）デザイナーのカン・ミアさんに話を聞いてみた。

○ 空気を伝えるデザイン ○

はじめに、UXデザイナーとしてのミアの興味について教えてください。

フォーマット面ではPC画面上の話よりも物理的なプロダクト、トピック面ならアレプレンスだね。多くのコミュニケーションがオンラインで起る時代に、離れた場所にどう感情を伝えることができるかに興味がある。電話するのとチャットするのと、言葉は同じでもその重みは全然違つくつるよね？ どうすれば物理的な存在とは別にある場所に存在することができるかってことをいつも考えてる。これは韓国にいた時は彼氏と、今は家族や友達と遠く離れてるのがきつかけかな。他にも、あなたといてもネットで友達とチャットしてたら、私は友達といふし、あなたにとつて私はそこにいないとも言える。そういう哲学的な部分にも興味があるな。

○ 泳げる都市 ○

チューリッヒの生活はどう？

特に気に入っていること、ある？

湖³で泳ぐこと！ チューリッヒで一番好きなところかも。水へのアクセスがソウルとチューリッヒの一番の違いだって感じてる。たたかぬ。多くのコミュニケーションがオンラインで起る時代に、離れた場所にどう感情を伝えることができるかに興味がある。電話するのとチャットするのと、言葉は

筆つてたんだけど、ほぼ毎日、近くの川に行つては飛び込んでた。素晴らしいよ。去年の夏は学校に上流からただ浮かんで流れるのを2回くらい繰り返して、ひとりで休んで、お腹が空いたら家に帰つてこはんをつくる。それが全然大仰なことじゃないんだよね。あまりに気軽にから、下着代わりにビキニ着てる人も沢山いるよね。

ソウルには漢江⁴がって、疲れたりに気輕だから、下着代わりにビキニ着てる人も沢山いるよね。當時に眺めに行つたり、友達と集まってマット広げて、宅配のフライドチキン食べたり韓国焼酎やビールを飲んだりするけど、泳いだり着て感じ。ソウルはそれ

いでもない。私にとつての川のイメージって、韓国では何というか壮大なもの。巨大でシリアルで圧倒的。一方チューリッヒではサイズも小さくてきれいで気軽な感じ。でもどっちもそれぞれ、漢江は落ち込んでる時に座つて眺めることで、チューリッヒ湖は暑い時に飛び込むことで、パワーを回復するのを助けてくれる。

都市と自然のバランスは大事だね。ソウルはすぐく都市化してて、公園もあるけどいつもどこかにコンクリートや摩天楼が見えて、自然の中にいるって全然感じなかつた。食事、買い物、何でも屋内。

一人で座つて自前のランチを食べられる空間ってそんなにない。でもそういう空間って落ち着くよね。人と会うのも、そこに芝生あるしって思える。チューリッヒでは5〜10分でそういう場所があるけど、漢江は色々乗り継いでやつと辿り着くって感じ。ソウルはそれ

話し手：Kang Mia Seulmi（カン・ミア・スルミ）

1993年ソウル出身。チューリッヒを拠点とするUXデザイナー。韓国芸術総合学校でインテラクションデザインを学んだ後、チューリッヒ芸術大学マスター・デザインコース（インテラクションデザイン）へ。テクノロジーと人間が出会うところに興味があり、それらを架け渡すデザインを探る。

文・聞き手と翻訳：斧澤 未知子（おのざわ・みちこ）

1984年兵庫県神戸市出身。大阪大学大学院工学研究科を卒業後、せんだいスクール・オブ・デザイン勤務を経て、現在はチューリッヒ芸術大学デザインマスター・コースで学ぶ。TADでは過去にフィクショナルな広告とストーリーを組み合わせた「広告とフィクション」を連載。

5. 漢江：首都ソウルを横切るように流れの川。川幅は優に500mを超える。流域面積では韓国最大。



リマト川にあるレッテン(注釈*3参照)。夏には人で溢れかえる。

けようとして。たとえば新鮮な野菜やジユースが欲しい時には農家がやつてお店に行くし、やイタリア系の、または農家がやつてお店に行くし、セカンドハンドショップですらすごく楽しい。場所を知ると地元みた

いな気持ちになれし、そうするのは外国から来てここで暮らす楽しみかな。私にとって

チユーリッヒは都市というより町つて感じ。界隈もコミニティも小さくて、お隣さんたちも近くで会うよ。

私、買い物大好きだし特別なものを買いたいエゴがあるんだけど、来た当初はミグロとコープだけが買い物の選択肢でそれが難しかった。でももっと小さなお店を見つ

○ 都市の雰囲気 ○

— 自然以外の面ではどう？ —

前、チユーリッヒは環境が良くて快適だけど、韓国ではいつも動いてたから急げ者みたいな

気になるって言つてたよね？ 今はマシかな(笑)。こっちに来た頃は、私には学校で寝起きするのも普通だったから、みんなが19時頃に絶対帰るのに驚いてた。一度、グループワークでみんなが18時頃に帰ろうとするから、「やること沢山あるよ！ 残つて作業しないきや！」って言つたら、「日々のルーティンを守つてエネルギーを残して、明日も効率よく作業できるようが大切でしょ」って言われたのが衝撃的で。その時は全然理解できなかつたんだけど、今は完全に分かる。ルーティンを守つて作業に集中すれば、いつも効率よく作業できるし、どんなに遅くとも20時には終わって、夜にちゃんとエネルギーも充填できる。効率良くなつて時間もあるから料理

多様性の違いによる雰囲気の違もあるよね。チユーリッヒにも多様性はあるんだけど、ソウルと比べると人柄やものの選び方なんかの幅は狭く感じる。服でも、特別なお洒落をしてる人ってなかなか見かけない。もちろん人をより多く見つけて、ソウルではかなり中

一方で自分には都市的な習性が根付いてて。ソウルではかなり中

8. 「資本主義やだわ」：ちなみに資本主義の何がやだわなのかというと、持続可能な不安を煽られるところである。スーパーでぎつしりと詰まつた商品を見ると、充足に心安らぐ一方、これらは本当に全部買われるのか？ 買われないものはどこに行くのか？ これらが無くなつたら私たちはどうするといふのか？ …そういうことが不安となつて大挙押し寄せて人類存続を疑わせるので嫌だ。不安だ！

9. 「全てが速くて新しいことがドンドン起こるし」：ちなみに「パリパリ（=早く早く）」というのが韓国

心部に住んでたから、たとえばたゞジョギングしても、それだけで同時にウインドショッピングもして、生活の背景たつたし、大都市の匿名的な感じが懐かしいこともある。だから日々、街の雰囲気を感じに、屋間に人がわーっと増えるだけ気分が良くなるの。

資本主義やだわって感じることもあるけど、一方で資本主義が放つものが好きだって感じることもあるね。日本や韓国の過剰に生き生きした雰囲気とかさ。

6. ミグロとコープ：スイスの二大スーパー・マーケット。それぞれハウスブランドの商品が非常に充実しており、裏返せばそれ以外のものは少ないとも言える。スイスでよく使うスーパーによって人をだしているコード・チャイルドに分けミグロ／コープ・チャイルドの冗談があり、私の観測では数ミリの差で高級感を持つて受け止められているコード・チャイルドの方だと答える時、人はほんの少しだが誇らしそうな顔を見せる。ミグロではお酒が買えないでの注意。

7. バーンホフシュトラッセ：Bahnhofstrasse、チユーリッヒ中央駅南に伸びるチユーリッヒのシャンゼリゼで銀座で御堂筋。有名ブランドが軒を連ねる繁華な通り。

8. 「資本主義やだわ」：ちなみに資本主義の何がやだわのかというと、持続可能な不安を煽られるところである。スーパーでぎつしりと詰まつた商品を見ると、充足に心安らぐ一方、これらは本当に全部買われるのか？ 買われないものはどこに行くのか？ これらが無くなつたら私たちはどうするといふのか？ …そういうことが不安となつて大挙押し寄せて人類存続を疑わせるので嫌だ。不安だ！

9. 「全てが速くて新しいことがドンドン起こるし」：ちなみに「パリパリ（=早く早く）」というのが韓国

満足と安心って日々良いことに思えるし、反対の意味で緊張感があるのは悪いように思えるけど、それらはそれぞれ別の状態なんだ、とも考えられるよね。

そうそう、別の状態。でもチユーリッヒの生活が素晴らしいとも、やっぱりソウルを懐かしく思うことはあるつて示唆的だよね。だつてつまり、安全と満足が全てつてわけじゃないってことでしょ。

その良さが、ここの人たちの保守的な態度と関係してると感じて、それが退屈だなつて感じることも無くはないけど、



日本昔話に出でくる、かぶると動物や植物の話を聞くことができること。頭巾。筆者の英語も、そのような別の世界の覗き窓ではないか？

日本昔話に出でくる、かぶると動物や植物の話を聞くことができること。頭巾。筆者の英語も、そのような別の世界の覗き窓ではないか？





長井勝一漫画美術館

長井勝一漫画美術館は生涯学習センター・ふれあいエスプ塩釜の館内にあります

長井勝一漫画美術館は、戦後漫画史を語る上で欠かすことのできない「月刊漫画ガロ」の初代編集長で、塩釜市出身である長井勝一氏の功績をたたえるために開設されました。長井氏が発刊した『ガロ』から、白土三平『カムイ伝』、水木しげる『鬼太郎夜話』、つけ義春『ねじ式』、永島慎二『旅人くん』などの名作が次々と生まれ、長井氏は「漫画編集の神様」と称されました。美術館には、長井氏のご厚意により塩釜市に寄贈された「ガロ」をはじめとするたくさんの資料が展示されています。美術館の貴重な原画や関係資料をとおして、漫画文化の一端にふれてみてください。

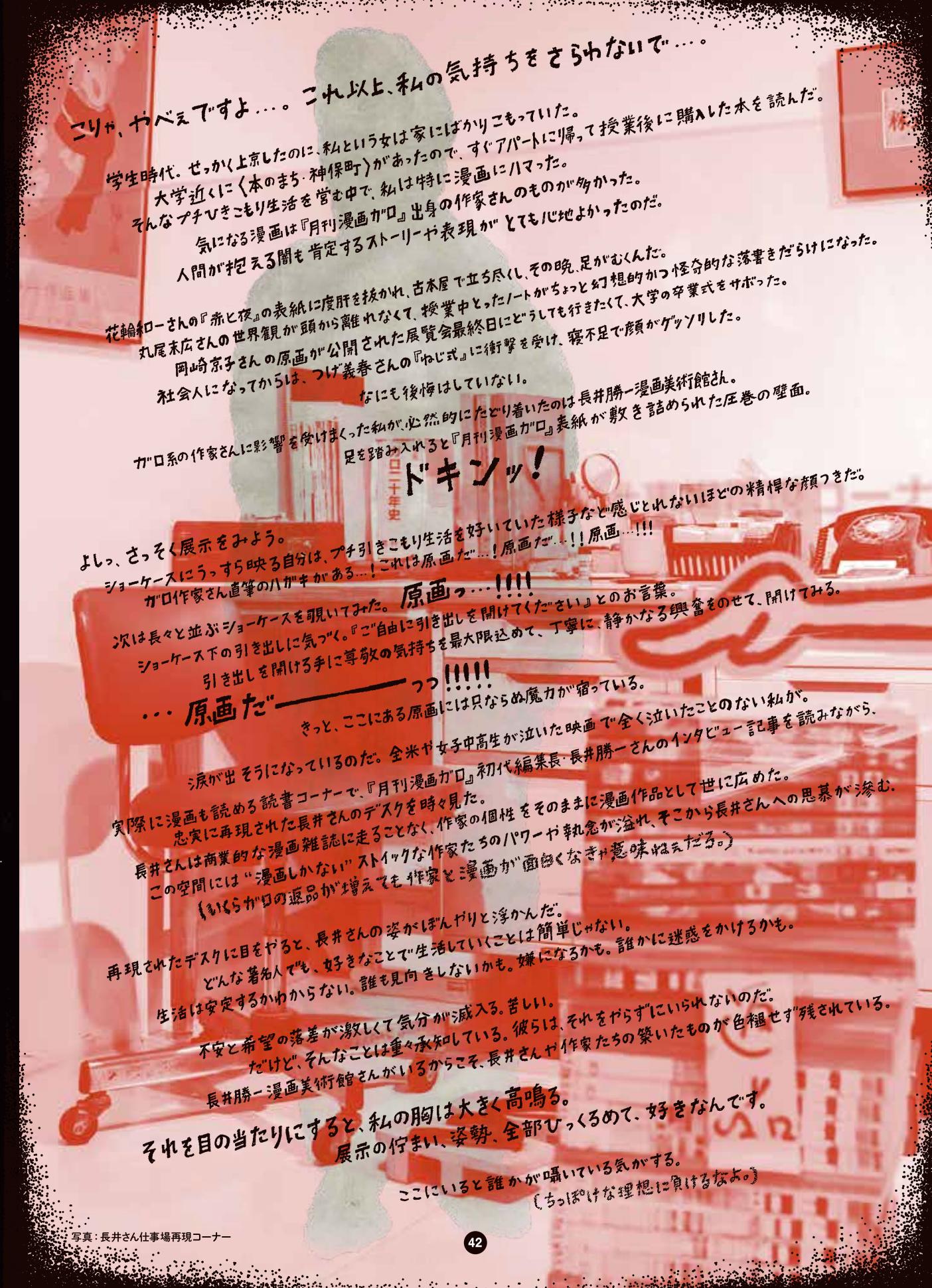
〒985-0036 宮城県塩釜市東玉川町9-1 TEL.022-367-2010

○開館時間／【平日】午前10時00分～午後6時00分【土・日】午前10時00分～午後5時00分

○閉館日／月曜日・祝日(子どもの日・文化の日は開館)

○アクセス／三陸自動車道・利府塩釜ICより5分/JR仙石線：本塩釜駅からバス15分/JR東北本線：塩釜駅から徒歩約1分

○お問い合わせ／塩釜市教育委員会教育部 生涯学習課 (生涯学習センター)



雀

草

か

ら

パ

ク

チ

一

スケートバード・ゆくゆくは雪国スケーターの冬の内蔵として拡まることを夢見ていた。

民の芸、僕の芸

この連載は第三回まで筆者の佐藤豊が自由に散文を書いていましたが、前号からは東京で出会った東北にゆかりのある人をゲストに呼び、対話を行っています。

N 鳥の置物を自分の部屋の棚に置きたかったんです。

Y 具体的に置きたい場所があるのがおもしろいですね。

N 今思うと、なぜ鳥かというより、もともとはイームズ夫妻の黒い鳥のオブジェ(*1)が欲しかったんですね。

N あの黒い鳥はイームズのデザインじゃなくて、イームズ夫妻が収集した民芸品のひとつでした。そこで、「民芸への憧れもあったので、自分なりの「民芸」として鳥を作つてみるかと。

長年たしなんできたスケボーネの廃材から鳥を削り出しました。お金も無いし、あるもので何とかしようと、売れたお金は当時の切実な生活の糧でもありました。仕上げ方法やパッケージ、そして売価、ずっと試行錯誤で。実は

こういう切実な状況から生まれるものに「民芸」の魅力が宿るんじゃないかな。**Y** 民芸という話が出来ましたが、謙行さんは大学でプロダクトデザインを専攻していました。

N もともと物を作る仕事がしたくて、弘前工業高校のインテリア科を卒業したあと、東北工業大学の工業意匠学科で学びました。そのあとは仙台の工業デザイン事務所に五年間務め、このときからアノニマスデザインに憧れがありました。アノニマスデザインの魅力も、機能的な実直さ、切実な問題解決から生まれる形がありますね。

東北の人?

Y 初対面のとき、謙行さんのことを「東北の人っぽい」とは思わなかったけど、あとから津軽出身だと知つて、なんだか腑に落ちるところがありました。言葉で表すのが難しいですが、なんとか独特な感じがしました。けれどその「感じ」というのはあくまでも無意識に感じていたことで、「独特さ」が全面に押し出されているわけではありません。

N 津軽感はあるかもしれません。顔も訛ってる(笑)。津軽はくせ者が多いです。私はなるべく目立たないようにならぬ生きたいんですが、結局目立つことが多くて嫌なんです。集合写

佐藤豊(Y) 今回お招きしたのは、東京のグラフィックデザイン事務所で助手をされている佐藤謙行さんです。まずは自己紹介をお願いします。

佐藤謙行(N) 一年半ほど前から東京のグラフィックデザイン事務所に務めています。その前は青森県立美術館で働いていました。イベントのチラシ、展示の案内デザイン、解説パネル作成などのデザインスタッフとして務める中で、今の事務所とご縁があつて。その前は東京でアルバイトをしながら、スケボーの廃材で鳥を作つて売つていました(下図)。

Y どうして鳥だったんですか?

品のひとつでした。そこで、「民芸への憧れもあったので、自分なりの

「民芸」として鳥を作つてみるかと。長年たしなんできたスケボーネの廃材から鳥を削り出しました。お金も無いし、あるもので何とかしようと、売れたお金は当時の切実な生活の糧でもありました。仕上げ方法やパッケージ、そして売価、ずっと試行錯誤で。実は

こういう切実な状況から生まれるものに「民芸」の魅力が宿るんじゃないかな。**Y** 民芸という話が出来ましたが、謙行さんは大学でプロダクトデザインを専攻していました。

N もともと物を作る仕事がしたくて、弘前工業高校のインテリア科を卒業したあと、東北工業大学の工業意匠学科で学びました。そのあとは仙台の工業デザイン事務所に五年間務め、このときからアノニマスデザインに憧れがありました。アノニマスデザインの魅力も、機能的な実直さ、切実な問題解決から生まれる形がありますね。



*2 ジャン=ポール・サルトルは一九〇五年生まれ、一九八〇年没。二〇世紀フランスを代表する哲学者、文學者、代表的な著書に『存在と無』現象学的存在論の試み』(L'existenz et le néant - Essai de phénoménologie critique)、『嘔吐』(La Nausée)など。実存主義は具体的、現実的な個々の人の在り方を見つめようとする思想で、第二次世界大戦後にフランスでサルトルらによって広まった。サルトルは、物事の本質よりも現実存在を優越、肯定し、また自由に伴う責任を自覚して行動することで実存が確立されるとした。

眞で端っこに行こうとしても、両側から人が来て結局ど真ん中じやん……みたいなことがよくあります。それでいて普通じゃつまらないという天邪鬼でもあって、結局ねじれた変な雰囲気が漏れているのかもしれません。あと豊さんがそう感じたのは、東北出身だからというよりも、私と豊さんの考え方や境遇が似ていることもありました。

Y それもありますね。お互いグラフィックデザイン事務所のアシスタンントという立場で、僕も高校のときにプロダクトデザインを学んでいて、それにものすごく天邪鬼な性格です(笑)。

Y 謙行さんは普段、あえて津軽弁で話しているんですか?

N 標準語を喋つてると、演技してる感じがあります。

Y 関西出身の友達も同じことを言つていました。

N ほんとの気持ちと一致しない感じがするんですよ。仕事の電話は誤解がないように標準語で話してますが、これは、電話が物理的なスイッチでもあつて切り替えやすいんです。でも、こうしてありのままの気持ちを伝え

たいときは津軽弁になります。

Y 言葉の意味だけじゃなくて、声にも意味が付着してることですよね。僕はあまりそれを意識したことがないです。実家に帰つたり、弟と電話をしていたりすると自然と訛りが出来ますが、普段から意識して訛らずに喋るN そうなんですよ。音楽で言えば、同じ詩でもメロディが変われば意味が違う、みたいな感じでしょうか。偏見もあるんでしようかね。偏見もあるんでしようかね。感情まで標準(フラット)になつてて、同じ詩でも標準語も気持ちと一致してくるんだと思うんですが。実際、仙台に暮らしていた九年間は、目立ちたくないで自称標準語でした(笑)。その頃は気持ちのズレを感じつても、いじめられないことが大事で。でも今は訛りを笑われたとしても、ズレなしの気持ちを素のまま伝えることができるか実験中です。

N この気持ちのきつかけと思われます。この別れがありました。もう一〇年前

たいたいときには津軽弁になります。

Y 言葉の意味だけじゃなくて、声にも意味が付着してることですよね。僕はあまりそれを意識したことがないです。実家に帰つたり、弟と電話をしていたりすると自然と訛りが出来ますが、普段から意識して訛らずに喋るN そうなんですよ。音楽で言えば、同じ詩でもメロディが変われば意味が違う、みたいな感じでしょうか。偏見もあるんでしようかね。感情まで標準(フラット)になつてて、同じ詩でも標準語も気持ちと一致してくるんだと思うんですが。実際、仙台に暮らしていた九年間は、目立ちたくないで自称標準語でした(笑)。その頃は気持ちのズレを感じつても、いじめられないことが大事で。でも今は訛りを笑われたとしても、ズレなしの気持ちを素のまま伝えることができるか実験中です。

N この気持ちのきつかけと思われます。この別れがありました。もう一〇年前

たいたいときには津軽弁になります。

Y 言葉の意味だけじゃなくて、声にも意味が付着してることですよね。僕はあまりそれを意識したことがないです。実家に帰つたり、弟と電話をしていたりすると自然と訛りが出来ますが、普段から意識して訛らずに喋るN そうなんですよ。音楽で言えば、同じ詩でもメロディが変われば意味が違う、みたいな感じでしょうか。偏見もあるんでしようかね。感情まで標準(フラット)になつてて、同じ詩でも標準語も気持ちと一致してくるんだと思うんですが。実際、仙台に暮らしていた九年間は、目立ちたくないで自称標準語でした(笑)。その頃は気持ちのズレを感じつても、いじめられないことが大事で。でも今は訛りを笑われたとしても、

きもたくさんあります。
N そこに私が知りたい、デザインの本質があるような気がします。偶然やアクリシデントをごまかさないで、受け入れて工夫していくことにおもしろみがあるって、愛おしいなと思います。計算され尽くしたものとか、完璧なものって何か疑ってしまう。そもそも「美」という基準 자체が怪しい(笑)。当時から今も同じ手仕事で作り続いている器があるて、その器 자체はほとんど変わらないはずが、時代や状況によって美と言われたり言われなかつたりする。このアーミレスのコップも、百年後には「工業美」とか言われて崇められているかも。つまり、変わるのは人間のほう。美って人間の勝手な基準であって、疑わしいもんです。だからおもしろいんです。信じていた美が変わっていて、いくことにビビっちゃいけないか、デザインは本当に悩ましくもおもしろい仕事ですよね。(了)

す。生まれてから目的を探していく生き物。目的（本質）の前に実存（存在）があるからという意味で実存主義。宗教によつては、不幸なことがあつたときに、神様はなぜ助けてくれなかつたんだとか、前世の因果だとか言うけれど、でもそうじやないだろ。これからどうするかなんだと。

Y サルトルが「実存主義とは何か」という講演をしたのが、第二次世界大戦、アウシュビツの後で（一九四五 年一〇月）、それこそ「神」を否定したかったのかなと思います。これは日本で坂口安吾が「堕落論」（*3）を書いた時期に重なります。「堕落論」で言つていることは実存主義の考え方と根本が一緒だと思うんです。堕落しるといふのは文学的な言い方だけど、日本が敗戦するまでのあいだ、日本人はこうだけでは成り立たない社会もあつて、その中でどうしていくかとなると、そ

N そうですね、ペーパーナイフを最近あまり見ないので……スプレーで。スプレーは「食べ物を掬うため」という目的があってあの形をしています

の時代、その場所でどう生きていくかを自分で考えて、自分で選択していくしか方法はないんですよね。

たり前になつていて、現代では道具と
いうよりも商品になつてゐる。後世に
伝えていくのはとても大事だと思いま
すが、それを過剰な消費へと結びつけ

★3 一九四六年四月新潮に発表(平年のうちに)
世相は變った、「中略」人間が変ったのはほな。人間は元來そぞういふもので、變ったのは世相の變つたのである。要は「正しく進むる道を進むべき」ことが必要なのだ。そして人の如くに日本も亦所生きることが必要であろう。墮る道を墮ちきることに

対談のあとで

好きで聴いていたある人の3rdアルバムがあった。ある日、たまたま彼の1stアルバムを初めて聴いて、彼だと気づかなかったほどの印象に驚いた。3rdは、複数の楽器が調和して、安定したきれいな歌声の完成度が高いアルバム。1stは主にギターとボーカルと手拍子。変わらず歌声はきれいだけれど、声の抑揚なのか、音のシンプルさなのか、生きしさなのか……理屈じゃない何か、パッション？ 言葉で説明しがたい感情的な何かを確かに感じてグッときた。これが民芸が手仕事を基準にする本当の理由かもしれないと思った。ファミレスのコップに宿る「健康の美」とは別の、理屈や合理的なことじゃない、人間特有の感情的な何か。民芸の定義には「手仕事」としか記せなかった、民芸特有の何かが潜んでいそうだ。

対談ゲスト・執筆／佐藤謙行（さとう・のりゆき） 一九八三年青森県黒石市生まれ、東京都在住。仙台のプロダクトデザイン事務所、青森県立美術館デザインスタッフを経て、現在は東京のグラフィックデザイン事務所に勤務。

対談の前、「資源」について話すつもりで何度か打ち合わせをしたが、いざ話してみると民芸の話になった。話しているときは確かにぼんやりとした手応えがあったが、文字になるとおもしろさを失ってしまうようと思えた。休みの日に何度か謙行さんの家にお邪魔して話し合いを重ねることにより、僕らが何を言いたかったのか、何を言おうとしていたのかが少しづつ取り戻された。

ただただ考えること。考えたことを言葉にすること、その考えを別の角度から考えてみること、そしてもう一度言葉にすること。考えることは答えを出すことではなく、流れに身を乗せたり、ときに渾らったり、とにかく考え続けることでしかない。

人間のおもしろさは面白く生きそのものだと思う。

執筆・イラスト・デザイン／佐藤 豊（さとう・ゆたか） 一九九〇年福島県相馬市生まれ、東京都在住。仙台のグラフィックデザイン事務所を経て、二〇一四年より有限会社服部一成に勤務。個人での仕事や文筆等も行う。

会を危ぶんで、民衆のための民衆による芸（手仕事）を守る運動としてはじまりました。日本各地それぞれの限られた環境から生まれた生活の道具に「健康の美」が宿っていると、特別な美を求めなくとも身近なところに美はあるよ、そんな日常の営みを愛でる思想にも惹かれます。でも、その価値を認めすぎると、民芸は日常のものではなく、特別なものになってしまふ。当時より工業化が進み、さらにA-Iが普及してくるこれから、手仕事は日常の営みというより、さらに特別な技術として貴重になり、民芸と芸の違いが曖昧になつていく。道具を大事に使つてほしいけれど、傷つかないように、そつと使う道具は民芸なのかなと。使い良くてガシガシ使つてこそじやないかと。Y 民芸は今の時代に本当に必要なものを、現在に可能な技術で作つていけばいいと思います。「民芸は後世に残していくべきもの」という価値観が当

廃材を使っていましたが、平たく言え
ばそういうことですね。

N そうですね。例えばこのファミレス
のコップ。多くの人に使われるため
に、金型で量産されて、コンパクトに
重ねられて、タフに、安く作られてい
る。これを民芸と言つたら怒られるけ
れど……私には「健康の美」が宿って
見える。豊さんに紹介してもらった坂
口安吾の「日本文化私観」(*4)でも、
最後のほうに同じようなことが書いて
ありました。お寺のような特別な美よ
りもドライアイスの工場のほうがグッ
とくると(笑)。美のために柱を足し
たりしたわけじゃない、何かしらの切
実な原因による結果の形。先日、河井
寛次郎展に行つたんですけど、寛次郎
さんも同じようなことを言つてまし
た。美は追いかければ捕まらない、気
づけばできてるって。

Y デザインも同じです。計算され
尽くしてできたものよりも、偶然が
重要なつでできたもののほうがいいと
言つた。美は追いかければ捕まらない、気
づけばできてるって。

* 4 一九四二年二月「現代文学」に発表。建築家ブルーノ・タウトによる同名の書籍で展開している日本本文化論を批判的にとらえ、「僕自身の「日本文化私論」を語ってみようと思うのだ」と、「「日本的」という言葉に就いて「人間を」「家に就いて」「美には、美の四節から成る。」見たところのスマートだけではなく、美しい物とはなり得ない。すべては、実質の問題だ」と喝破した。現在は講談社文芸文庫などに収録。これらも「青空文庫」で読むことが可能。



46

開催!

Share studio. Photo studio. Exhibition space.
Recording studio. Warehouse. Shop. Cafe

完了記念 施設お披露目会 プロジェクト

2019
1/6
SUN

つくる場所をつくる!

DIY PROJECT

施設名称は「スタジオ開墾」に決定!
いよいよ来年1月よりシェアスタジオが稼働!

どうほくあきんどでざいん塾(以下、あきんど塾)では、これまでさまざまな若手クリエイターの支援プロジェクトを展開してまいりましたが、今年度は「つくる場所をつくる!」をキャッチフレーズに、新たな作品や商品を生み出すための(共同スタジオ)を創り出すプロジェクト「DIY PROJECT」を実施してまいりました。途中、さまざまな課題が噴出し、当初の予定より約2ヶ月遅れての完成となりましたが、ぜひ多くの方々にこの施設の門出に立ち会っていただきたいと考え、お披露目会を開催する運びとなりました。

当日は、プロジェクトリーダーの関本欣哉氏をはじめ、プロジェクトに参加した若手クリエイターのみなさんとともに、これまでの過程を振り返りながら、今後この場所が仙台のクリエイティブシーンに果たすべき役割や可能性について、語り合えたらと考えています。また、会場では参加クリエイターやアーティストによる作品展示や公開制作も行います。軽食もご用意しておりますので、お誘い合わせのうえ、卸町へぜひ足をお運びください。

日時
2019年1月6日(日) 11:00~14:00

会場
スタジオ開墾(旧・イベント倉庫 ハトの家)

参加費
無料(要予約)

対象
プロジェクトの経過や、今後の施設利用等に関心のある方のほか、
どなたでもご参加いただけます。当日は暖かい格好でお越しください。

予約方法
あきんど塾のウェブサイトまたはFacebookイベントページよりお申込みください。

主催
どうほくあきんどでざいん塾

| | |
|-------------|--|
| 11:00~11:15 | 関係各位より挨拶 |
| 11:15~11:45 | プロジェクト参加者紹介 |
| 12:00~14:00 | 乾杯&立食ランチ |
| 12:30~13:10 | トーク ゲスト:五十嵐太郎(東北大学大学院工学研究科 教授 建築史・建築評論家) 関本欣哉(プロジェクトリーダー、Gallery TURNAROUND 代表) |
| 13:10~14:00 | 会場自由見学 |



スタジオ開墾(旧・イベント倉庫 ハトの家)

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-15-6

アクセス情報
仙台市地下鉄東西線「卸町駅」下車、北1出口より徒歩9分
お車の場合、建物隣接のサンフェスタ駐車場をご利用ください

主催
お問い合わせ
どうほくあきんどでざいん塾(担当:山口、深村) | <http://tohokuakindodesign.jp>
TEL: 022-235-2161 (代表) 022-237-7232 (直通) FAX: 022-284-0864
Email: info@tohokuakindodesign.jp

とうほく
あきんど
でざいん
塾

とうほくあきんどでざいん塾は
仙台市と協同組合仙台卸センターの
協働事業です。



コンノケンジのお買い物

低価格の商品を消耗するサイクルに飲まれ、モノを手に入れることのステータスすらかすんで見える昨今。
私たちにとっての「お買い物」とはなんなのか?と立ち止まって考えるきっかけになる(かもしれない)、
マイペースかつ実直な買い物通、コンノケンジの通販日記。

今年のはじめに引っ越しました。引っ越しという行事は、モノとの別れと出会いのタイミングであります。家具や家電を一新する方もいるでしょう。我が家の場合、ゴミ箱を買い換えました。以前使用していたゴミ箱は、キッチンと冷蔵庫の隙間に入れる必要があり、サイズを最優先に購入しました。そのため愛着を持つことなく、ただゴミを溜めておく箱にすぎませんでした。適当な選択をしてしまえば、適当な使い方をしてしまいます。思い出してみると、どこかすさんだ気持ちでゴミを捨てていたかもしれません。というか、ゴミ箱にゴミを捨てる時の気持ちで、大概は前向きな気持ちではないはず。自分の空間を心地よくキープするためには要となつたモノを処分する行為ですから。

今回の転居に向けてゴミ箱

を新調しようとインターネット

といつも大海原を彷徨い、ドイ

ツのSULOのゴミ箱に辿り着き

ました。緑色の樹脂製で、背景

が赤、文字が白のボックスロゴ

が正面にプリントされたチャ



商品: \$166.25 送料: \$134.84
購入先: <https://www.amazon.com>

ミングなフタ付きのゴミ箱。しかし、見つけた時には既に国内での取り扱いはなく、購入可能なものは120リットルの屋外用の巨大なものでした。ある日仕事の打ち合わせのために訪れたデザイン事務所で目にし

記事に、ゴミ箱が紹介されていました。しかしどの雑誌も見つからず、メモ帳も分からず、覚えていたのは医療用というキーワードでした。医療用もさることながら業務用とかプロ御用達という言

たことを思い出しました。しかし、当の雑誌も見つからず、メモ帳も分からず、覚えていたのは医療用というキーワードでした。医療用もさることながら業務用とかプロ御用達という言

て購入しました。新しいゴミ箱を実際に使いはじめて、便利な点が特別あるわざが、あることでゴミを捨てる時の気持ちに変化があつたかはさておき、置いてある併まいが気に入っています。壊れない限り、使い続けると思います。

余談ですが、先述のデザイン事務所にはKUWAHARAのBMXもあり、聞くと通勤で使用しているそうでフレームもペールもヴィンテージのことでした。最高。このようにいちいちモノに執心する人は、それだけで信頼に値すると思っています。

から、この時点でアメリカからの送料は、頭から消えています。日本での取り扱いがなかったため、アメリカのAmazon

で購入しました。

この時点でアメリカ

からの送料は、頭から消えています。

ました。日本での取り扱いがな

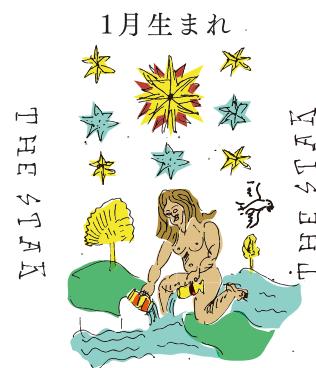
かったため、アメリカのAmazon

で購入しました。

この時点でアメリカ

からの送料は、頭から消えています。

ROSEBUD TAROT READING 秋冬の運勢



1月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年1月
 2月
 3月
 4月
 5月
 6月
 7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月

タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年1月
 2月
 3月
 4月
 5月
 6月
 7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月



2月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年2月
 3月
 4月
 5月
 6月
 7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月



3月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年3月
 4月
 5月
 6月
 7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月



4月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年4月
 5月
 6月
 7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月



5月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年5月
 6月
 7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月



7月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年7月
 8月
 9月
 10月
 11月
 12月



8月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年8月
 9月
 10月
 11月
 12月



9月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年9月
 10月
 11月
 12月



10月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年10月
 11月
 12月



11月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年11月
 12月



12月生まれ
 タロットカードと月の暦による生まれ
 月別占い
 2018年12月

タロットリーディングでは、出たカードの向きが正位置（上下が正しい）か、逆位置（上下が逆さま）かによって占い結果が異なります。♦が付いているものは逆位置の結果です。

〈資源〉をめぐる二〇葉

〈資源〉というテーマをより深く理解しようと、協働クリエイターの面々がマーリングリストを通して交わした対話の一部を紹介します。

あるそうです。屈折してますね)など、違った形の寄る辺になつていたりもする。

こういう存在って、特

別な(というのは素晴らしいとかの意味ではな

く、特異点というよう

な、たとえばブールと

か遊園地とか、あるいは

は瞑想道場かもしれない

施設的な)何かを、自

は瞑想道場かもしれない

けど、ある意味では

この人たちの資源だな

と思います。「財産」で

も近いかもしません。

これを資源だと思つた

と、街が持つている何か

がそこに住む人たちに

資するものとして存在

しているというか、そ

がそこには、住む人たち

の好きだとかお気に入

りだと思える過ごし方

を生活の一部とするこ

とを可能にさせていく、

ということかなと思ひ

ました。湖がなければ

こかに出かけていかな

くちや得られないもの

が、湖の存在で、生活の

中、時間ができた屋下

がりに水辺に行つての

のが大大大好きなよう

で、休日になるとフラフ

と一人で浮き輪を持つ

て泳ぎにいくそうです

(上流の綺麗な水辺でな

く、普通に街中の広瀬

川へ)。奥さん的には「い

い大人が裸に近い格好

で恥ずかしい」と少

し呆れているそうです

が、外国の方のほうが

川遊びは身近なのかな

と思ったのでした。(M)

外国で夏に、平日で

も水着で湖・川でくつ

ろいでる沢山の人を見

ると「こ」の湖や川つて

この人たちの資源だな

と思います。「財産」で

も近いかもしません。

これを資源だと思つた

と、街が持つている何か

がそこに住む人たちに

資するものとして存在

しているというか、そ

がそこには、住む人たち

の好きだとかお気に入

りだと思える過ごし方

を生活の一部とするこ

とを可能にさせていく、

ということかなと思ひ

ました。湖がなければ

こかに出かけていかな

くちや得られないもの

が、湖の存在で、生活の

中、時間ができた屋下

がりに水辺に行つての

のが大大大好きなよう

で、休日になるとフラフ

と一人で浮き輪を持つ

て泳ぎにいくそうです

(上流の綺麗な水辺でな

く、普通に街中の広瀬

川へ)。奥さん的には「い

い大人が裸に近い格好

で恥ずかしい」と少

し呆れているそうです

が、外国の方のほうが

川遊びは身近なのかな

と思ったのでした。(M)

この人たちの資源だな

と思います。「財産」で

も近いかもしません。

これを資源だと思つた

と、街が持つている何か

がそこに住む人たちに

資するものとして存在

しているというか、そ

がそこには、住む人たち

の好きだとかお気に入

りだと思える過ごし方

を生活の一部とするこ

とを可能にさせていく、

ということかなと思ひ

ました。

また、それは使うも使わ

ないも人次第で、ゴロ

感じかなと思いました。

また、それは使うも使わ

ないも人次第で、ゴロ

感じかなと思いました。